大正三年六月一日發行　大正三年五月二十八日印刷納本
明治三十七年五月七日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）

めぐみの家

第拾壹巻
第六號

要目

女子青年界第十一巻第六號

目次

YOUNG WOMEN OF JAPAN

(JOSHI SEINEN KAI)

Volume XI　　June, 1914　　Number 6.

◎御來會は

誰方でも差支ありません。本會員でなくても。信者の方でなくても。
お若い方でなくても。御婦人ならば、どなたでも差支ありません。

七月二十一日より
同　二十九日まで

神奈川縣橫須賀大津村勝男館にて

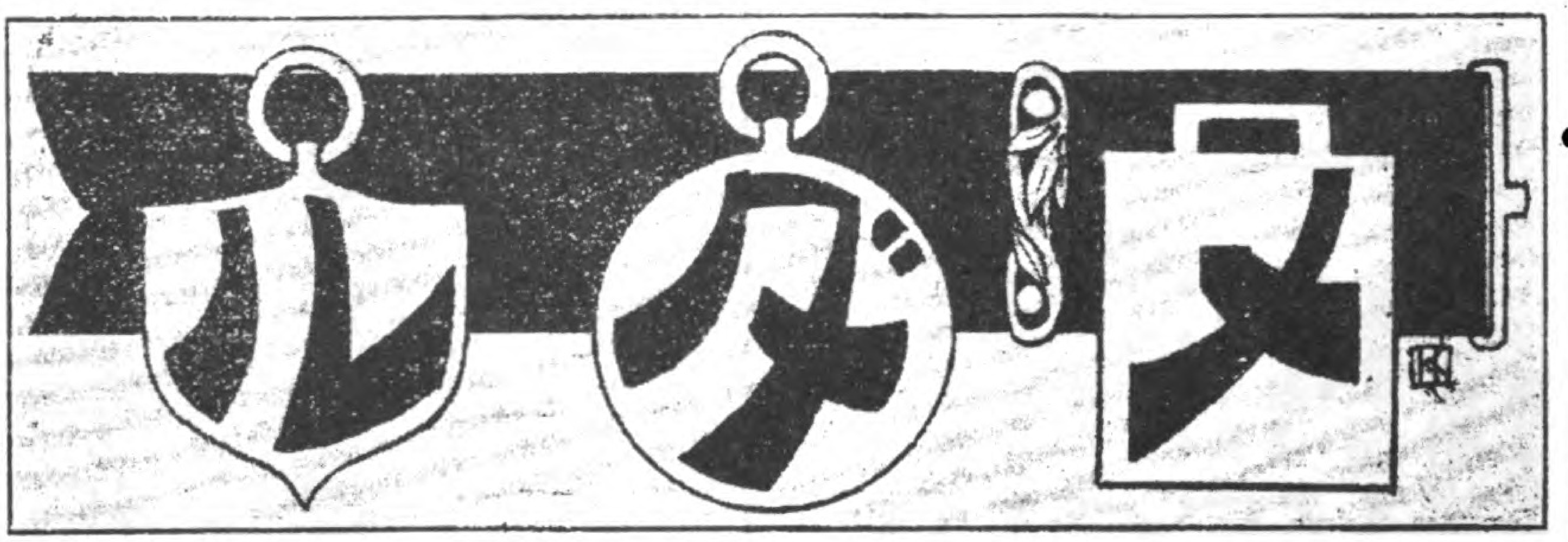
第九回　女子夏期修養會

申込は成るべく至急本部へ、詳細は申越次第回答す。

東京市牛込區田町三丁目十二番地

日本基督教女子青年會本部

電話番町四五六三番
振替口座貳參七貳叁番



■春惜しむ窓にて

森田松榮子譯　最新刊

エリサベス・フライ

□四六判紙裝　□定價卅錢　□郵稅四錢

▽東京朝日の評に　原著者はキングシウキスにして宗敎生活に一生を莊嚴し、殊に牢獄に身を托する罪人に、限りなき愛憐の情を垂れて、之が慰藉と、監獄改良とに盡瘁せし、貞淑の夫人エリサベスフライの傳を最も流暢に譯述したるものなり。

▽萬朝報曰く　英國の婦人キングシウキス夫人の著を抄譯せるものにして、主人公は著者が搖籃にある頃より噂にきいて慕ひし、欽仰すべき一基督敎徒なり。家庭の人として、社會の人としての完き行は讀む者をして襟を正さしむ。

バットラー夫人

□四六判クロス　□定價金五十錢　□郵稅金四錢

大隈伯本書の卷頭に序して

バットラー夫人は英國に於て公娼制度の廢止運動を開始し遂にこれを成就したる人也。大學敎授の妻として、數人の子供の母として、淑德の譽高かりし、バットラー夫人の溫順なる性格と勇敢なる事業とは必ずや我國人に一大敎訓を與ふるならむ。

矢島楫子譯

發兌　東京京橋尾張町　警醒社書店　振替東京五五三番

女子青年界　第十一巻第六號（大正三年六月一日發行）

會説

五十歩百歩

河井道子

昨今東都の新聞賣は號外で莫大な利益を得る事と信じます、別に大事件と云ふべきもので無くても號外として叫び廻つて人心を騒立てゝ居ります、今度は何事かと急ぎ一枚を求むれば『相撲の延期』などで馬鹿らしい目に遭ひます、此様な經驗は誰しも致した事でありましよふ、或日私は電車内で餘り號外の聲高いのに驚き何事かと思ひ一枚を手にしますと例の喧しき收賄問題が二號活字で現はれて居りました、左右の見識らぬ乘客は私の兩側より覗き込み共に讀んで一人は『酷い事をやらかした』と云へば一人は『隨分取つたな四十四萬圓以上とは酷い奴だ』と相鎚打つて私を中間に置き兩方から此問題の議論をやり出しました。勿論世間を驚ろかした一大疑獄で兒童さへも其成行を聽きたがつて居る樣な事件故斯かる議論は普通の事でありませう、朝夕の新聞紙に於て上下一般殊に商店員、小僧、職人、車夫等暇の時には何れ程か口沫を飛ばして慷慨悲憤して居る事でありませう。

上に於て權を執る高貴の人々、社會の指導者なる會社又は個人が斯かる大罪を犯したとすれば勿論世

人の譴責を受けるのは正當の事であります、私は何も彼等の罪の辨解をなすわけではありません、惡は惡、善は善とし社會の曖昧なる態度を一變したいものと常に願つて居る一人であります、されば積惡の暴露したる事決して悲しむべき事とは思ひません、然し又基督教信者の立場として信者は輕々敷是等の事を判斷し酷評すべきものでは御座いません、至極謹愼なる態度を持ち、間違ひし人々の眞に善に立返り餘命をして今日の罪惡を補ふだけに立派な善事を爲し遂げしむる爲に祈るべきものであります。

此シーメンス、ビツカース事件は破天荒の曲事にて我々如き普通の者が犯し得ざる大罪を堂々たる人々が犯しましたのです、然し反省すると收賄の金額に於てこそ非常であれ莫大であれ罪の性質より言ふ時は五十歩百歩の差といふべき者が世間に幾千幾萬あるか知れますまい。

借問いたします、外國人を顧客として居る商店などの多勢の番頭、小僧が之は酷いとか割腹して罪を謝すべしとか云ふて人の罪を攻めて居りますが其商店は誰れかに贈賄した事がありますまいか、外國人の案内者にコミッションを取らない者が何の位ありませう、料理者や召使が、肉屋、野菜屋、乾物屋、洗濯屋等からさへ何れ程の賄賂を受けて居りませう現に或る東京の屈指の唐物屋は外國人の家の料理者召使に贈賄せざりし爲め顧客を失ひ他の贈賄主義の唐物店と到底競爭し得ずして閉店した實例が御座います、今日の一大疑獄と云はれます事件は金高に於てこそ莫大なれ、小額とせば上下共、同類の犯罪人が幾百千萬人あると言ふても過言ではありません。

嘗て有名な日本の某博士が其令夫人(米國人)同伴にて横濱に行かれし際夫人は某商店にて多大の買物をなさいました、店員は博士を普通の案内者と思ひ密かに一封を博士の懐に入れたので博士は驚き大聲に『何だ何だ』と申され引き出して見た處が所謂コミッションであつたそうで御座います、そこで博士は即座にそれを開くや此様に金を呉れるならもつ

と買物したらよいと其場で開封され店員は大いに赤面をしたといふ事があります、又車夫が外國人を乗せて商店等に連れ行く時には、これは二割だと申して客を其店に入れますと其店は後より車夫に二割を渡すといひます、多くの病院旅館等の内幕を曝露したら如何なる恐ろしい事が現はれるかわかりません或老人の話に『伊勢道者は昔より必ず『お杉お玉』の鑿當を見るが伊勢參りの條件の一つであります、宿引が道者を澤山連れて小屋の前に來ると彼は必ず木戸番の側に座を占めるが例である、それは一人について五厘づゝの口錢を貰ふが御定で自分はよくそれを實見て又宿引が腰掛けたな二十人だから十錢貰ふたなと斷し立てる事がある』と申たことがあります。

又普通の看護婦には贈賄がなくては世話して貰らへないと申した病人もあります、社會、個人の不正を筆誅すると公言して居る新聞紙は此點に居て潔白でありましようか、自分は子女立身の爲に意味ありげな贈物をする親がないでしようか、又暫く罪の樂を享んよりは寧ろ神の民と共に苦難を受けんをよしとし、正義を行ふを以てエジプトの寶財よりも貴と意ひて不義の贈物を斥けしものは幾人御座いましよう、かく擧げ來れば枚擧に遑ありません。

かく贈賄收賄は階級の如何に拘らず上下左右一般に深く〳〵家庭、社會に染込で居るかと思ひますと戰慄の外は御座いません、パウロと共に『神の前に義とせらるゝ者一人だにあるなし、明達者なく神を求る者なし、みな曲りて全く邪となれり、善を作ものの一人もあるなし』と慨歎せずに居られません、是を五十歩百歩と申は不當でありましようか。

抑も人間は兎角自身が犯さゞる罪を他人の犯すを是を攻める事が酷であり、又自身の長所が他人の短所になりて居ると其者を意氣地なしの如く輕蔑致し勝のものであります、例せば自身は竊盜、酒亂の罪を犯さずとも若し不義、虚言の罪ありとせば却て己が罪は棚に上げ置き己の犯さゞる罪を犯した者を非

常に責むるものであります、又自身が勉强家であればたとへ德義に悖てゐても此點は言はずして他の不勉强者を譴責し勝ちの者で御座います、然し雅各は『人律法を悉く守るとも若その一に蹪かば此全を犯すなりと申して居ります、我等は同じ罪惡こそ犯さずとも必ず皆罪は犯して居ります、勿論法律に觸れる罪證はありますまいとも、神の目に於ては其れ以上の掟を破つて居るかも知れません、何卒各自に反省して謙遜の德を養ひ、他人を寛恕すべきであります、又同時に罪より釋されて神の僕となり聖潔に至るの果を得んために祈り且努力いたす責任が御座います。

近來時變天變私共の周圍に降りかゝつて參りましたが必ず我等を敎訓せんとしての神の御聲が其中に御座います、耳ありて聞ゆるものは聽くべしとの主の御警句を覺え、深き御敎育を味はふではありませんか、吾が心、吾家庭、吾學校、吾社會、我國が御心に適ひたる正義の衣を着けん樣に眞心より謙遜に祈りましよう、キリストの外人類を救ふ者なき事を尙一層學びましよう、御意の天になる如く地になる事と信じて求めましよう、姉妹方よ、御身等の祈禱は決して空を撃つ如きものに非ず、山を移すものなるを覺へ給へ、祈禱も自己中心のみは差控へられよ我を潔め、我を救ひ我を守り給へとのみ願ふはよろしからず、我を離れし大なる祈禱をせん事に心懸け給へ、上に在りて權を持つ者の爲に己より目上の人の爲に、己の恩人等のため、友人のため、又病める者、獄中に苦むもの、犯罪者を取扱ふ人々のためにも祈り給へ、何處にも神の御名の榮らるゝ樣に祈り給へ、眞の愛國者は神を信じ又神を愛し又神に愛さるゝ人なるを忘れ給ふ勿れ、收賄問題等は對岸の火事として呑氣な見物を止め、吾身を反省せしむる大敎訓として、我國民として不義の惡むべき精神を涵養せしむる大機會として眞面目に恐惟されんことを願ひます。

信仰の力

(三井病院新入看護婦歡迎會席上にての講演の大意)

立教大學校長　博士　元田作之進

如何なる事業を執る人にも必要なのは信仰であります、人と人との間は信用と云ひ、人以外の或物に對して信用する時は是を信仰と申ます、信仰にも誤信、妄信、迷信、確信、敬信と色々の差があります一體人間は人間以上のものをのみ信仰するかと申すと決して然では御座いません、人間以下の物を信仰する事が澤山あります、其は人間の進まぬ時代には劣等のものでも人間以上の力を持て居ると信ずるよりして、鰯の頭や、蛇や、狐と其他の下等な者を拜するのであります、勿論是が鰯なり蛇なり狸なりと思ふ丈では誰も信仰はしませんが、彼等が人間以上の力を以て居るとの迷信で拜する樣になるのであります、彼の有馬の猫騒動の如きは如何に猫が不思議の力を以てゐたと人々が信じてゐたかといふことを明證します。

抑も人間は信仰すれば其ものに似て來るのであります、子供が親に似る、言葉つき、樣子皆親に似ると申のは即ち子供が親と共に居り親を信じ親に知らず〳〵に習ふ處から似て來ると同樣であります、狐付が狐の働作をしたり、蛇信者が蛇の樣に這ひ廻つたりする事は當然であります、外形以上に其心が下等物に似て居ります、其故我等は信ずる者を選ばねばなりません、慥に人は何か信仰すれば或點迄は安心であります、然し其處に又危險な所があります、病人が毒の瓶を藥と信じ安心して寢る事が出來る、其處までは結構ですが愈々苦痛が刺込で其藥を飲だ

ら、それこそ大變彼は生命を失ふ事になります、印度に實に色彩美しい蛇が居ります、其種類は非常な毒を以てゐるので、其を唯美麗であると信ずる間は安心であるが、餘り綺麗ゆゑ飾にでもせんとて手や首に卷けば一寸嚙まれても直に全身に毒が廻りて生命を失ひます、かく信仰する者に依りて安心する時間が短く危險が却て長大である故に信ずる目的物をよく考へねばなりません。

玆に一つ信じなければならぬ、信じても人に笑はれぬ何處よりも惡いとて攻撃を受けぬ、道理もよくたつ信仰すべきものがあります、即ち唯一人の眞の神であります『天に在します我等の父』といふ神があります、我等自分の肉體の父は各々一人で、誰も幾人も父を持つものはありませんと同樣に父なる神に幾人もある筈はありません只一人であります。

扨て信仰が眞か僞かを計るに目的と結果から見る事が必要です、目的から計る時は道理ある信仰であるか否や、結果から計る時は結果は善か惡かであります、結果がつまらぬ事であれば本當の信仰でありません、又眞ならば信ずる者は善良人とならなくてはなりません、口にのみ正義や道德を唱へ一方に惡事を行へば其は口先の信仰であります、道理に合つても結果が空であります、信仰の賜ふ果は凡ての善でなくてはなりません、基督敎で云ふ信仰は目的も結果も道理に適つて居ります、吾々の信ずる神は至善至美でありますから此神を信じ彼の如くになると云ふは最も道理に適つて居ります、此神を信ずとせば先づ愛が先にならねばなりません愛には親切、恩惠、謙遜が含んで居ります、謙遜に就きて面白い物語があります、或處に二軒隣合の家がありました一軒は夫婦ぎりで暮しも豊な家ですが喧嘩が堪えた事がありません、隣は夫婦に五人の子供で貧乏ですが何日も平和で和氣靄々として居ります、一軒で喧嘩を始めると貧乏の夫婦が必らず仲裁をする始末でした、一日又例の騷動を始めたので又例の通り夫婦が仲裁した、今度は富家の夫婦が襟を正して云ふに

は『一體私共の家は失禮ですが貴家に比べると暮向も豊に人數も少ないからよく納まるべきであり、貴家は御家族も大勢ゆへ喧嘩でも成さるべきであるのに平和にして居られるが是は何の譯でありましよふ敎へて戴きたいものです』とのことで『其はよくこそ御問被下いました、これは全く貴家は良い方が御揃であるから御衝突が起ります、拙宅は惡い同志ゆゑ平和で御座います、貴家へ參りますと御主人は俺はよいが妻が惡いと申され、奥様は私はよいが主人が間違つて居ると仰有います、然るに拙宅で何か失錯がありますと是は俺が惡かつたと申すと、家内は否私が惡う御座いましたと云へば、子息が否私が惡いのでしたと詫ると弟が兄さんではありません私が惡い、とかく御互に惡い々々と申す惡者が揃ふて居りますから、平和に參る次第で御座います』と返事したとの事です、實に皆謙遜の態度であると不平や不和が起る筈がない、又たとへ人か間違つてゐたにしても其に依りて反省すれば益々進歩するのであります、基督敎の美徳の中に此謙遜の入れてある事は道理ある事ではありませんか。

謙遜と共に必要なのは親切であります、特に看護婦には大事なことで、此が缺けて居ると病院や病人から嫌はれ、又病院の名を傷けます、其等の美徳は神の與ふる賜物であります、加之に信仰は精神を美化させます、精神の美しい人は顔までも美しくなり其人の感化は大したものになります、つまり善は美でありますゆゑ、以前申しました通りに善なる神は美の神で、此神を信仰すれば彼に似て來る譯であります。基督敎は一々徳を擧げませんでも皆愛の中に神聖なる愛の中に籠らせて居ります、愛は凡ての徳の帶であります。

實に人を親切に助け看護することは、金よりも醫師の藥よりも病人には有難いものであります、故に愛に勝る大事はありません、殊に神の使命によりて此病院に來られし方々は戰爭の時軍人が一生を擲ちて戰ふと同じく淸き仕事をなさるのであります、不

平を言はず忠實に何事も神により安心しなければなりません、神が常に見て居給ふ、神がやらせて下さると考へつゝしたならば病氣が感染つても安心である、これは神の力ある御助けに縋つて仕事をする結果より起る安心であります。

此日此席上に於て何の御馳走よりも清き、美しき神の與へらるゝ贈物、これを今日よりは枕下にも机の上にも置いて戴きたい、聖靈の力、愛はこれから友となり貴女方は其お使をなさるのである、どうかこれを今日を始めとして何時も胸にかけるか心に納めるかして失はぬ様になさる事を願ひます。（文責在記者）

デボラの詩

松宮彌平

舊約聖書の士師記の第五章に『デボラの詩』といふがあります。此詩は預言者デボラが自分の報國的事蹟を叙し、同時に神の大能と恩惠とを頌讃したものといふのでありますが、啻に聖書中の文學として價値のあるばかりでなく、何の時代といはす、何の所といはず、天下の文學を研究しても、先づ此位の立派なものは多くはあるまいと思はれるので御座います。此詩の作者は果してデボラ其人であつて、自ら筆を採つて此樣な詩作を致しましたとすれば、デボラは實に千古の大詩人としても恥しくはないと言はねばなりません。殊に、デボラは婦人で御座います。此詩の主人公として且作者が婦人の預言者であるといふ事に於ては、一層深甚なる興味を感ずると共に現代の女流に對してデボラ其人が多大の敎訓と

なつて居るといふ事を想はずには居られないのであります。

今、順序として此の詩の内容たるデボラの報國的事蹟の概略を述べて見たいと思ひますが、このデボラといふ婦人は、紀元前一千年、今日よりすれば約三千年前頃に現はれたイスラエルの預言者で、ラビドテといふものゝ妻で御座いました。抑も、紀元前一千年代のイスラエル人といへば、牛や羊を追ふ遊牧の民として、永い年月を沙漠の生活に過し、漸くヨルダン河の彼岸、即ち今のパレスチナの地に達して、其處に住つて居た土人を逐ひ拂つて、玆に始めて定住の位地を占める事が出來たとは申しますものゝ、まだ中々國家の基礎が据つたといふ様な段取には至らないのでありまして、唯だ僅に士師を立てゝ政治を行つた位の事であつたので御座います。其上に、所謂イスラエル族は幾個もの支派の聯合團でありまして、動もすれば、其各支派は分立割據の姿になつて居て、内實は國民の統一も一致も出來て居たのではなかつたのであります。從すて、屢々土人軍や隣國などからの襲撃を受けて、敗北の汚辱に逢着するを餘儀なくされた事も、決して一度や二度の事ではなかつたのでありました。

デボラの時代は實に斯くの如き國步艱難の時代であつたので御座います。而して、其上に當時のイスラエルの敵といふのは、シセラといつて中々の强敵であつたので御座います。彼は『カナン王ヤビンの軍勢の長であつて鐵の戰車九百輛を有し二十年間イスラエルの子孫を甚しく虐げし』(士師四ノ二、三)といひ、又イスラエルの國中には彼の暴虐のために『大路を通行ものなく通行く人は徑を歩みイスラエルの村莊には住む者なく住む者あらずなり』(士師五ノ六、七)とあるに見ても殆ど、無政府の狀態にまでなつて居た事が分るのであつて、イスラエル人がシセラの爲に如何に殘虐に逢ひ、如何に迫害を受けたかに想ひ到る事が出來るのであります。

デボラは元來國政上に權力を持つて居た人では

ありませんでした。しかし、デボラがデボラの棕櫚の樹の下に在つて國民の相談相手になつて居た（士師四ノ五）といふ事が書いてありますのを見ると、十分國民の信任と尊敬を受けて居たといふ事は疑ひないと思はれるのであります。其上に愛國心の厚い人で御座いましたから、國民がシセラの暴虐に泣いて居るのを見兼ねて、默止するに忍びず、之を塗炭の苦より救ふべく決心して、婦人の身ながらも蹶然として起つたので御座いました。

而して、此際、デボラは國難救濟の方策として、二大要點を提示して國民の覺醒を促したので御座いますが、其第一は、シセラの如き强敵に對するにはイスラエル各支族が個々分立して居ては到底駄目であるから、各支派の交渉熟議を遂げ、擧國一致で以て、外敵に當らうといふ事、もう一つは、デボラはイスラエル人の今日の憂目は決して偶然の事でなくイスラエル人の中には最初より禮拜したイスラエルの守護神たるエホバを忘れて、漸次異端の神を拜するものが起つたので、其不信仰の懲罰として、覿然、この様な憂目に逢ふと思ひましたから、エホバの神に對する國民の信仰心を復興するの必要があると考へましたので御座います。而して、デボラは此二要點を提示して國民を說き、民心の漸く熱するを認て兵士を召集して軍隊を組織いたしました。しかし、自分は婦人でありますから、誰か國民の信望を繫ぐに足る總指揮官を得たいと存じまして、色々と苦心の結果、終にバラクといふ極めて大膽で有力な軍人を起たしめたので御座います。しかし、バラクといへどもシセラの勢力には多少避易せざるを得なかつたと見へまして、結局デボラが共に出陣するといふ條件を約束して、イスラエル軍の總指揮官たる事を承諾いたしたのでありました。

其中に、シセラはイスラエルの戰備に怠りなきを聞て、唯だ一擊の下に粉碎し盡すに若かずとし、其仕度を整へ、手勢を盡し、九百輛の鐵の戰車を率ひて、軍容堂々として、ギデオン河の河畔まで攻め

寄せて參りました。

言ふまでもなく、此戰はイスラエルの興廢を賭けた戰でありましたが、イスラエルの軍勢は深くデボラに信任して居るばかりでなく、シナイ山に在すエホバの神は必ず援助を與ふると確信して、必勝を期して大奮闘を致しました結果は、さしもに强勇を謳たれたシセラの軍勢も、其豫想に反して大敗北を招き、且退軍の間際に大降雨に逢ひ、ギデオン河畔の曠野は一面の水沼と變じ、シセラの鐵車は動かなくなる、兵士は遁路を失ふて溺死する、シセラの全軍は全く進退の自由を失ひ、大將シセラは僅に單身徒歩で逃げましたやうな次第となつたのであります。デボラは其詩の中に、此時の大勝利を叙して『天も星も敵を攻めて敵の軍勢をキシオンの川に押し流し、イスラエル軍の軍勢の馬の蹄は强き者の馳に馳するによつて地を蹈み鳴らせり』と申して居りますのでも、其激戰と勝利の模樣を窺知する事が出來ます。

それから、僅に身を以て逃れた敵將シセラは、イスラエルの軍勢の追擊を避て從者をも連ず只一人。豫て懇意であつたケニ人を便つて一時身を隱さうと致しましたが、其ケニ人の妻はシセラを歡待して、天幕の内に休ませ、シセラがよく寢入つた時刻を窺つて、自ら天幕の釘と鐵槌を携へて、恐しくも熟睡せるシセラの身邊近く寄添ふて、其鬢へ釘を打ち込み、地に刺し通して殺して仕舞ました。

斯くして、デボラは國敵を打ち亡し、國難を排除する事が出來ましたが、流石は婦人の情として、敵將シセラの家に殘つて我が子の遠征を懷へるシセラの母の心を思ひ遣らずには居られないでした、即ちイスラエル軍の大勝と敵將シセラの敢なき最後を叙した後に、猶ほシセラの母が侍女等を相手にして、我が子の凱旋を今や遲しと待ち詫びて居る情緒を巧に寫して居る。（士師五ノ廿八以下）實に母として異境に出陣した我が子が功名を負ふての凱旋を祈る心の程は東西古今更らに變つた事はないので御座いま

して、我が子の悲慘なる最後を露知らず『窓より望み格子の中より叫びて彼の來る何で遲き彼の馬の歩み何で捗取らざる』と待ち詫びしシセラの母の心根を、當の敵たるデボラの口より謳はるゝ事の奧床しさを感ぜざるを得ないのであります。

以上は『デボラの詩』となりし事蹟の概略でありますが、さて、是より學ぶべき私共に取つての教訓は何でありませうか、試に其二三を擧げて見たいと思ふので御座います。

今、此詩によつてデボラの事を考へて見ますと、デボラは信仰と自任と經綸とに富んで居た有爲の婦人でありましたといふ事は、誰にも明に認められるので御座います。

デボラは前にも申しました通りに、イスラエルの國運が振はないで、常に異邦の侵略と凌辱を受けて國難瀕至の狀態に在るのは、全くイスラエル人が其守護神たるエホバを忘れて異端の神を拜するものゝ多くなつた爲の懲罰であるかの如く信じたので御座います。而して、國民が悔改めてエホバに歸りさへすれば、神の偉能は國家を安全に守つて泰平ならしむると信じたので御座います。今日の文明思想から推して考へて見ると、頗る幼稚で、餘りに單純な信仰のやうに思はれますけれども、其時代の先覺者は概して其のやうな考を持つて居たのでありまして、其結果は、毎度國民の覺醒と悔改を促すことになつて、幾度か傾倒せんとした、國民の信念と國家の運命を緊張する事が出來たのでありました。故に、國家の興癈盛衰は、大能の手に賴む國民の信仰と同じ程度を以て上下するものと、確く信せられるやうになつたのであります。此信念は幼稚にして且單純であるには相違御座いません。けれども、或る意味から申しますと、今日でも同じ事で御座いまして、之を包む形式や言論こそ進んで居ると致しましても、其根底に橫はつて居る國家の運命は國民の信仰と其消長を共にするといふ點に至つては、吾人の主張する今日の文明思想と何等の懸隔があらうとも思はれ

ないので御座います。

デボラは如上の確信を抱いて國家の運命を善導すべく起つて、そして、此信念を土臺として擧國一致を標榜したので御座いました。思ふに天を怖れ民和ぐといふ事の外に社會國家を救ふ最善策がありませうか。デボラは正にこの最善策を採つて起つたので御座いました。其國運を挽回する事が出來たのも偶然ではありません。此點に於ては、デボラは興國の秘訣を知つて居るものでありまして、彼の輕薄なる形式的の國民道德を皷吹し以て治國濟生の要を得たりとせるものに比すれば、霄壤の差も啻ならざるものがあると言はねばなりません。

次に、デボラの自任の精神の深かつた事は、又た大に倣ふべき點であると思ひます。デボラが婦人ながらも一度イスラエルを救はんと覺悟した時には、國家の運命を双肩に擔ふて苟もする所がなかつたので御座います。デボラは其詩の中に其決心を述べて「我デボラ起れり我起てイスラエルの母となる」（士師五ノ七）といつて居りますが、この「母となる」の一語こそ實に其自任の告白であります。それ人或は友達となり又は聲援者となる事は左程の難事ではありますまい、けれども「母となる」に至つては蓋し容易の事ではないので御座います。抑も母は犧牲的精神の表現であります。デボラが「母となる」の一語の中には眞にイスラエルの爲に犧牲となつて國民啓導の大責任を完ふするの大精神が煌めひて居るので御座います。而して其獻身奉公の結果がイスラエルの幸福と平和を生出すに至つたのであります。何れの國、何れの時代に於ても、この犧牲的大精神が漲つて居る自任の人物が起らなければ、國家の隆興は期待せらるべきものではないので御座います。

終りに一言したい事は、デボラが經綸ある婦人であつたといふ事で御座います。前に申ました通り、デボラは信仰もあり、自任の精神もあり、愛國至誠の心にも富んで居つたに相違ありませんでしたけれども、若しこの經綸ある婦人でありませんでしたな

らば、或は其事業は失敗に終つたかも知れないと思ふので御座います。世の中には精神に充ちて經綸の足りないために、折角の事業も成功する事が出來なくなる例は幾何もあるので御座います。然るに、デボラの事蹟を研究して殊に目立つ所のものは、其精神信仰と其經綸が並行して行つたといふ事であります。實にデボラは政治家たるの眼識があつて民心の歸趨を察するの識力を備へ、國難に處するの政策を立つる事を知つて居たのみならず、智慮周到であつて能く立國の根本義を辨へ、國民を啓發誘導してまゐりました事や、十分判斷力があつて其場合々々を鑒別して適當に切り開いて行く道を心得て居た事や常識があつて臨機の處置を採つて誤らなかつた事など、到底經綸ある人でなければ爲し能はざる所で御座います。

要するに、デボラは事業を爲す底の性格手腕を具備した婦人で御座いまして、其上に確き信仰と自任の精神に充ちて居ました事は、即ち斯かる成功を生み出した大なる理由であるを疑ふことは出來ません

顧みれば、今や、世は文明の恩澤に浴して、學問に技藝に思想に信仰に、其進歩は底止する所を知らない狀態であると申しましても、眞底にある缺陷は信仰に充ち經綸に富んだ精神ある人物の無い事で御座います。殊に我國の現在に於て然るを感ずるので御座います。されば、デボラの時代を去る茲に三千年、猶社會にも家庭にも、將た萬般の事業の上にも結局必要なるものは矢張デボラの如き人物で御座います。知らず現代のデボラは那邊にか起るでせうか。

信仰生活のしほり（三）

松榮譯

第二　瞑想

瞑想とは何ぞ。聖靈の導きの下に神の聖言より、何等かの教訓を神より受け奉らんと努むるをいふ。先づ聖靈が聖書をしるし給ひしを思ふ可し、聖書は聖靈の指導の下に書かれたるなり。

『そは豫言は素より人意によりて出しにあらず、神に屬する聖人、聖靈に感じて語りしものなればなり』（ペテロ後書一ノ二一）

故に聖靈ひとりよく之を我等に説明し給ふなり。

我等はまづ蹈出しより聖靈に導かれんとし、自らを全く、聖靈の神の指導の下におかんと願ふなり。

『我は聖靈を信ず。聖靈は生命を與ふる主』（ニケヤ信經）

『彼來らんとき、罪につき義につき審判につき、世をして罪ありと悟らしめん、罪に就てと云へるは我を信ぜざるに由りてなり、義に就てといへるは我わが父へ行くによりて、爾曹またわれを見ざればなり、審判に就てと云へるは、斯世の主、審判をうくればなり』（聖ヨハネ一六。八—十一）

『暫くせば世われを見ることなし、されど爾曹は我を見る、われ生くれば爾曹も生きん』（聖ヨハネ一四。九）

ペンテコステ以來、聖靈は其前にあらざりし方法と擴さに於て、我等のうちに働き給ふ。聖靈は種々なる方法もて働き給へども、殊に聖書に由りて働き給ふなり。

『その神の信は、活て且つ力あり、兩刀の劍よりも利く氣と魂また節々骨髓まで刺し剖ち心の念と志意を鑒察ものなり』（ヘブライ書四。十二）

『夫れわれらが戰の器は、肉に屬するものにあらず營壘を破るほど神によりて力あり、我らは神の敎に逆ひて、建たる所のすべての櫓と論を毀し、諸

の意思を擒にして、キリストに從はしむ」(後哥十四、五)

『また敕の冑及び聖靈の劍即ち神の道を取り』(エペリ五。一六)

『右の手には七の星をもち、兩刃の利劍その口より出で、面は甚しく輝く日の如し』(默示錄一。十六)

此等の句は、聖靈によれる聖書の如何なるものなるかを示す可し。

　聖靈は時に、幾年もキリストへ導かれつゝ、未だ一度も眞正なる生活をせしことなき魂の中へ、聖句を利劍の如く送り給ふ。聖靈は我等の罪を最も現實に感じさせ、次の聖餐の折には、その重荷に堪えざらしむ。又聖靈は時に、聖句を撰みて、我等の心をたのしませ慰めて、如何に試錬に堪ふ可きか、如何に困難に處すべきか、躓きし後如何にして再び起つ可きかを敎ゆ。又時として、我等が云ひがたく悲しき處に、聖靈は、我等に全く新らしく思はるゝ、古き聖句を送りて、我等の心に新鮮なる生命を入れ給ふなり。

　記憶すべきは、聖靈は活ける人格なり、といふ事なり、彼は、恰も、地上の我等の友人が、我等の傍に座しつゝ難句を說明し、我等の問に答ふるが如く聖句に由りて我等の魂に語り給ふ。若し我等にして聖靈の指導を仰がば、光、慰め、いましめ、罪を認むること、譴責、矯正、正義の敎訓等、すべて此等の眞理を確實に知るに至るべし。

　我等は、日毎に瞑想するの習慣をなし始めてより後も長き間、或は恐らく一生、空想に時をむなしく過すを、絕えず覺ゆるならん。瞑想の時何等の益なくとも驚く可らず、我等は誘惑に遇ひ、又とりとめなき思ひに心を領せらる、此等の思は或は他の人々の爲の願なるべし、この願そのものはよろしけれど實際そが、神より來れるか、サタンより來れるかは知るに易からず。

「サタンも自ら光明の使の貌に變ずるなり」(後哥十一)

我等はあらかじめ困難に備ふるをよしとす。

瞑想に入る前の注意二三を語らんに、(イ)聖句を讀むこと、(ロ)恭しく跪きて神の聖前にあることを現實に感ずること、(ヤコブの井のほとり、或はベタニアのマリアの家に、主のみそばに我身をおき、或は種々の場合に身をおきて考ふも可ならん)(ハ)自己の意思を從はすこと、瞑想に於ては、ひたすら神の意に、わが意を任せまつりて、自ら、强て何物かを獲んと期せずして、靜に祈りて俟つをよしとするなり。『よろづのもの丶眼はなんぢをまち、なんぢは時に從ひて、かれらに糧を與へ給ふ』(詩一四五)

(ニ)想像と理解。鋭敏なる想像を活潑に働らかせ、聖書中の記事、主イエスの御一生の時々の御有樣を新らしく鮮かに、見また感ずべし。奇跡をなし給ひし時の御樣子、痊されし者のよろこび、群衆の驚きなどを、心眼に活躍さする想像力と共に、理解力を働らかせ、主イエスの肉體をとりて、此世に在せし昔、その光景を見給ひたる、聖靈に、我等も之を解し得んことを祈る可きなり。(ホ)一つを求めよ、多くの思想の同時に湧き來らば、何れが聖靈のみこゝろにかなへるかを、聖靈我らにしめし給ふ迄、靜かに、待つべきなり、をさなごの心もて此指導者にたよるべし、心さまよはば更に强く賴りまつる可し、或時は心づかざりし罪を知ることあらん、或時は嘗て聞き、或は讀みたりし聖歌、聖句などの全く新らしきものとして臨み來ることとあらん。『聖靈はすべての事を爾に敎へ、また、わがすべて爾曹に云ひし事を爾曹に憶ひ出さしむ』(聖ヨハネ十四)なほ神に語ることも大切なり。我等の瞑想の、神の聖前に容れらる可きは、瞑想に用ふる時間の長短、語の巧拙によるに非ず、我等は、主イエスが、わが願はざる先に聽き、我等に過分を與へ給ふ友なるを知りて、主に語りまつる可きなり。この他注意を要する二三の點は、空想を避くること一なり、わが意思を全く服しをはること丶、靈的遲慢とを混ず可らず、『人の子の與ふる糧の爲に働く可し』(聖ヨハネ六)瞑想の時

は神を思ひ、祈り、聽くなり。長き春日に散策すると同じ氣分にてある可にはあらず。瞑想の間にも、心を擧げて、聖靈の神のみたすけを仰ぐべし。又時に或は、我等、跪きて神の臨在を味はんと努むる折あやしくも暗くおぼろにして、反て、常の生活に於けるよりも神の臨在に觸るゝことの、覺束なきことあらん、かゝる時は、心を神にあげ、靜かに、ひたすらに賴る心もて、そのわびしく苦しき思を神に語り、みめぐみを祈るべきなり。かくてもなほ、冷たく心みだれ居るがごとき事あらば、それをしも神に捧ぐべきなり。主はわが祈るを見給ひしなり、愛を以て我を見まもり給ひしなり。今わが握りがたきものを後に至りて與へ云ふ可し。やがて我は、かゝる欠乏を來らせしものは、わが罪なりしか否かを知るに至らん、後に至りて、我は何か惡しき事をしたりしを知ることとあらん、主はいとも大なる愛をもて、わが罪をわれに憶ひ出させ給ひ、われに之を認めしめ、主イエスに、之を洗ひ去り給はんことを、願はしめ給ふ。又或時は、かゝる欠乏は罪のためならでわが意思をねり、自らを卑うし『見る所に憑らず、信仰によりて歩ま』しめん爲に、すがたを變へたる祝福なりしを知ることもあらん。

我等は阻まざる可し、神はわがすべての困難を知り給へり、神は『いとちかきたすけなり』(詩四六)

朝鮮一覗（其二）

河井道子

龍山は京城續きで電車にて二十分位の距離ゆへ往來は至極便利で御座います、元神學社卒業後越後村上教會の牧師なりし伊藤春吉君の牧さるゝ龍山教會の二回の講演は嬉しく致しました、此教會にて盛岡女子青年會々員で今の和田夫人と又昨年大津の修養會に出席されし神戸女學院の津田姉等に御目にかゝり舊知巳に斯く遠方にて御逢ひする喜びは一入で御座いました。

仁川へは一日の午後植村先生と共に出かけ同夜着青年會館の會場での演說會に出席致しました、此種の會合には珍らしき盛會であつたとの事を後で聞きました、此町は日露戰爭後非常に衰微の、状況を呈して居るとかで畢竟京釜間の鐵道が出來るに從ひ仁川の方に影響が及んだゝめので御座いませう、日本人町と朝鮮町との差は著しいもので前者は立派に一つの商業地を現はして居りますが後者は昔ながらの茅屋軒を連ね道路の不潔みじめに思はれました、其夜茂木氏の宅に招待されましたが茂木夫人は病後聽神經を害され實に御氣の毒に存じます、然るに其信仰の麗しき事又御良人が厚き同情を以て如何なる說敎講話も之を夫人の爲に筆記して御見せになるといふ美談を伺ひました、同家は有名な龍印醬油製造元で多勢の人々を使役さるゝのですが何時も主僕の間に家庭的關係を有せらるゝとの事で何處に於ても基督敎信徒の榮の現はれる事を衷心より感謝して歸りました。

四月五日の夜京城を辭し大邱に向ひました、此處は釜山に程遠からぬ一中心にて將來有望地とかの事であります、同地に朝の二時半に到着し又親切なる諸兄姉の歡迎を受け諏訪氏の宅に伴はれました。夜間の旅といひ夜明けにも間のある事とて早速就寢致し翌朝になり手厚き夫人のもてなしに與り四方山の談話中如何にも諏訪夫人は見覺のある方の如き心地し何處にてありしか、何時なりしか等腦裡に忙しき活動をはじめ先方の話もよくは耳に入らで何處にて逢ひし方にやとのみ考へ居りしが、ふと己が幼少の時北海道札幌にて共に英語をはじめし奧樣方の一人にてありし事を思ひ出して、其由語り出でしに夫人は大いに驚き私は貴女を見覺が御座いませんがとの御返事それも其筈今より二十五年の昔一時ハイカラ流行の時に所謂猫も杓子も束髮に英語といふ時代ありて夫人連中の間に大いに英語の流行せし時代でありました、當時丁度札幌にスミス女宣敎師が小さき女學校を起し夫人方といはず小兒といはず皆混合的

に英語教授をされましたが自分はおたばこぼんに髮の毛の足らはぬ時代、奥樣方の中に入り共に『それは犬である、汝は何をなしますか』等の直譯を習ひ其意味さへ解らず或は又夫人連中の何が可笑しきにやよく笑はるゝを不思議なりと思ひし程の少女なりし故夫人の見覺無きも無理なき事であります、先づ札幌が話の種子となり信者の好誼の其上に昔の關係を引出し一層に暖き愉快なる歡迎を受けました、神の言葉は何處に蒔かれ、何處に發芽し何處に實を結ぶものかと新たに感じました、此夫人は其昔スミス敎師より聖書を習ひ其後内地に來られ長らく求道者なりしも御主人の許可なくして受洗せず常に祈禱を以て其期の來るを待たれしが某日婦人會に主人を伴なはれ、それより御夫婦にて敎會に出席され遂に御兩人同時に授洗の喜びに入られしとか此御家庭を通して大邱に大なる働の出來ることを悟りました。

扨て十時の婦人會とて出掛け牧師館近くに參りますと向方から微笑を湛えつゝ來らる婦人がある色艶よく、溫情表はれ壯健なる體格誰れならんと思へば數年以前女子英學塾に在學なりし杉本乙枝氏、如何にも御互に嬉く、今此地にて何に從事にやと問へば英學塾時代以前より大阪の孤兒院に献身されしよりして先年同院の支部大邱東村に移住して扶植農園なるものを起し自分が其主婦として監督の任に當り農業を孤兒青年と共になしつゝあるなれば、是非一度來園して實地を見てとの招待、其に應じ得ざりしは殘念でありました、かゝる高尙な事業に身を處して感謝と喜樂とを一言一句に表はし、其顏色其容姿は言葉以上に雄辨に其事實を談るに私は深く感激致しました。私の同地に到る由を聞きて二里を一走りに來たとの辭にまさる歡迎の辭を私は受けた事がありません。婦人會後晝飯を來會者と共にし二時の婦人會に出席なし夜は植村先生御來邱にて先生の前座を勤めました、かく三回にて五十名位の男女求道者を得ました、當地は今年中に敎會を建築するの計畫のよし必らず神の是を成就し給ふを信じます。翌日植村

先生と共に釜山に向ひました。五月七日の正午近くに下車致しますと數人の諸兄姉御出迎下され直に該地の一番といはるゝ旅館にて晝食を戴き二時よりの婦人會に出席しました。

到る處に青山ありと歌ひますが、到る處に知己あり朋友ありと言得る身は何と幸福でありませう、停車場にて一婦人が名刺と共に私は七年前女子青年會の青山女學院に修養會を開かれた時京都同志社女學校を代表して出席しました藏田咲と申す者で御座います、貴女の御講話等は忘れましたが彼の時南洋の客とて貴女が首の廻りに草履を掛け頭に團扇を飾りマクドナルド姉が通譯人として出られた樣子は忘れられません、彼の時御一所に寫眞を撮る時私は隱れて居りました事等思ひ出しましたとの挨拶で嬉しくもあり面白くもあり、いづれ自分は碌な事は話せざる者故せめては馬鹿眞似の姿にても人の心に留めをき貰ふは嬉しく釜山滯在中は藏田姉の御世話になつた次第であります、同姉は目下釜山にて有力なる看護婦會を經營され教會のため大に御盡力なので御座います。

釜山教會牧師秋元氏夫人は救世軍の指田靜子姉の御令姉でフェリス女學校の卒業生にて英學塾の教授星野愛子姉の御友人である處から色々の關係にて如何にも親しく御話する事が出來ました、其他女子學院、普連土女學校出身者、北海道にての知己等にも此處で邂逅する事を得ました。時間あらば數日滯在したいと思ふ樣でありました婦人會後武田愛次氏のお宅に招待され同地に滯在中は同家の御厄介になりました。御夫人充子姉御母公は古くよりの信者にあらせられ、武田氏は昨今洗禮を受けられたといふお話でありました、此處にも又美はしき信者の家庭が出來ますので同御家庭が其地に於て愈々光となり鹽たらん事を祈つた次第であります。其夜は植村先生と共に教會にて傳道說教をなし、翌日は郵便局に於て交換手の爲に講話し、午後は婦人會、夜は井深梶之助先生と共に傳道說教をなし、翌朝門司に向け歸

途につきました。
　釜山にて色々見聞致しました一二を擧げますと、開港場の通弊として如何にも悲しむべきは野卑な風俗の浸入であります、遊廓地もあれば又其附近には迷信敎が群をなし愚民を惑はし財寶を散らし惡感化を他に及ぼすといふ弊害があるそうです。朝鮮人に於ても京城にて見た樣な上品な者は先づ目に留らず皆勞働的の階級で婦人の服裝等も到底見るべきものはありません、本願寺等は數萬圓の財産を持つて勢力ある由ですが人心を敎化する點に於ては何の力もなく却つて迷信不德を增さしむる樣なものである由です、こゝに熱心な基督信徒の團體が起り昨今新らしき敎會を建てこれを維持し眞面目なる傳道を開始して信者各自が其責任を負ふて居られますだけでも基督敎の眞なる宗敎である事を表はすに充分で御座います、釜山より可なり離れた處の製紙會社寺尾氏の如きは每日曜未明より起出で家族引連れ釜山敎會に出席され夜の集會にも臨み終列車に乘り後れて旅館泊にならるゝまで熱心に禮拜を主んじ敎會の傳道を助けらるゝ御精神は感服に堪へません、釜山敎會は將來最も有望なる敎會の一つと確信致します、牧師、信者共に心を合せ祈の精神を以て眞面目なる傳道が愈々彼の地に進められ迷信多き場所をかへて敬虔の念に富みたる市とさるゝ樣に何處の信者でも祈るべきだと存じます。

　又朝鮮全體の印象を總括して申しますと第一政治其ものゝ如何に大切であるかといふ事であります。惡政治の結果、彼の國があれまで人心に於て物質上に於て又天然其ものに於て衰徹廢頽したかと思ひますと良き政治の必要を强く感ずるのであります。又形式の笑止なる事を感じました、例へば乞食の住居に非ずやと疑ふばかりの茅屋に福壽祥瑞舞鶴來麒麟或は宮殿の正門に仁政門とか斯く事實と正反對なる文字を扉に揭げ之を貴ぶ等の樣子を見ると如何にも形式のみて實の擧らざるは愚の至と云ふ事を習ふのであります。何れを見ても亡國の觀念が浮ばざるを

得ませんが、然し又基督教が如何に此國に於て宜べ傳へられ如何に新生命を人々が得て居るかといふ事實を目撃致しますと神の靈のある處には必ず進歩發達のあるものである、所謂死より生にうつるといふ事を實現して居ります。朝鮮は決して亡國ではありません、是より發達すべき國でありませう、一粒の芥種子が長ちて天空の鳥を其技に宿す樣になると約束されし主の言葉が必らず實現いたしましよう。

此國を生かすも亡ぼすも其は兵力に非ずして平和であります。神の靈であります。日本國民は彼の國の發達を物質上武力のみに訴へずして靈界に訴へ彼の國の進歩を助けなければなりません。益々信者の祈、同情、努力が必要であります。もし日本の信者の教育ある婦人にして朝鮮に渡る志あるならば決して金錢を思はず献身的に正義と愛と、謙遜と勉勵等を以て彼民族を愛し教示しましたらば政府が兵士や役員や、官吏的教員の大勢を使ふよりは良結果を來すと斷定致します。

家庭のいろ〳〵

在米　加藤高子

十月廿九日、手紙の紙の品切でも、まだ一度も當市で買ひませんので不慣で一寸困りますが明日は誰かに伺ふて一緒に行つて戴きます、五番町のヘンペク堂がなつかしくてなりません、ミルオキーにもあのヘンペク店があればよいと思ひます。

私は米國に於ける女子青年會沿革と云ふ小い冊子を讀みミス、メリルが先生で色々說明と御經驗を加へて御話し下さいます。私はミス、メリルの前に居つて覺えた事を申して勉强して居ります。青年會に對する熱情と興味が一層增して來ました、此の大きな團體。最初は小さな祈りのグループとした、本當に神との交際祈りの力は萬事の中心ですから私は日本の青年會も熱心に祈り二三人の働き人があれば立派に發展する事と信じて居ます。生先！前途働くべき餘地のある日本の青年會の爲めに祈つて一緒に働

かせて戴き度く思ひます。

昨晩は青年會がありました。日本の子供の話でした、人形や色々のものをもつて行きまして見せました。ミス、メリルは色々の本をさがしてよく話しをして下さいました。私は時々話を致しましたきり。私はまあ置物でした。打解けた會でした、紙の人形の頭を皆さんが帽子かと尋ねられます、日本婦人は帽子をかぶらないと申せば不思議がります。下駄を見て、こんな物穿いて心地がよいかと失禮な事を申ます。私には指が一本〳〵になつて居るもの二つにわかれるのは決して不思議でない一つにして指のはたらきのない方が不自然と致しますの、けれど默つてました。

昨夕又記者に會いました。今度は男子、米國の着物の事計り聞きますの。米國の婦人の着物は日本人にもよいかと申ますの。米國の着物は米國人にはよいでせうと返事しました。其の他スコットの作やエリヤットや塾で讀だ本の名を申しましたら其の驚きは全く日本を知らない事を證明してました、唯々話が充分出來ない爲に日本をよく表はし得られませんのが殘念ですの。

十月三十一日はハロイン、パーテイーをすべき日とかで此家で御座いました、是は品定遊戯會とも申べきものです。まづミス、メリルのは家を蜜柑色と黑色の色々で飾られました。南瓜の提燈や猫蝙蝠鬼等が出來ました、午後八時からでしたが南瓜の甘い香が家中に滿ちました。まあ華美な飾りに出來る丈けいたしましたが瓦斯はきえて蠟燭ばかりでした、洋行者は皆御記臆がありませうが私は初て聞て初て見ました。御馳走はリンゴドーナットレモン水飴等さうやう〳〵パプエーンがありました。初て戴きました。集つたものは七十人位でしたが、色々の種類の人達で面白く愉快に馬鹿らしく暮しました。私は蠟燭を吹けとのことで勢こんで一息に吹き消したら五本殘りました、或る方が日本に歸て青年會の仕事を初めると直ぐ結婚ですねといはれました。私の占

は『汝の道には薔薇咲きみだれ汝の良人は汝の爲に全力を盡さん』或る方が、餘り平凡だ、もつと涙のある方がよいとの御批評、大笑ひ。まあ馬鹿らしい子供氣な事をして遊びましたが、米國人はよく遊びますし、又よく働きますのね。感心しました。此の様な笑ひころがる様な事をして戯談をしますのね。ミス、メリルが落ちついた靜かな様子で戯談を言はれる其がまた面白くおかしく感じました。私が日本にかへつたらハロインパーテイーをする様にとて滑稽な繪をかいた紙のナプキンの殘りを皆下さいましたから是非日本へ持つて歸ります。東京青年會の建物が出來たら致しませう。

今入口の呼鈴が鳴りまして、とん／＼がた／＼云ふ音がしましたから大急ぎで飛で參りましたら、男の子供が南瓜に目鼻をつけ中に火をつけて門口に來たのでした。部屋の硝子窓から外を見てますと子供が澤山南瓜をもつて歩いてます。今晩は綺麗な晩です星が高くて空晴れて。

「明日と相談」と申ますのは一週間計り青年會委員の一人なるチャーチ氏の御家に參りますの。私は當家が私の家の様な氣がして今更遠い外國にでも行く様な氣が致しますの。しかし又御親切な御招ぎで私は有難くて堪りません。けれど又此の家を永く去るに忍びませんと云ふ思ひが致します。ミス、メリルが私共は自分達ばかり貴女を占領してはいけないから行く方がよい、又直ぐ歸つて來る様にと仰せられました。一二週間位だろうから、そしたら又直ぐ歸つて來いと親切に云つて下さいました。私も我儘をするまで自分の家の様に思つてますの。此家の女中が他へ行てはいけない、家に居る方がいゝ可愛そうだなどゝ申します。

十一月五日、新い御家庭に來りました。空腹でたまりません。もう數分で食事。一寸時がありますので一筆。ミセス、チャーチはピヤノをならして居られます。

扨私は月曜日の夕方から此所に參りました。全く

異つた御家庭ですの。ミセスは教師をもせられたとか、又なか〳〵家政が御自慢らしく色々見せて下さいます。まづ臺所を一番に竈やら洗濯機械や火熨斗などを、米國婦人は家庭に澤山の便宜な器を用ひて居ますもの、家庭以外の訪問でも働きでも出來る筈ですはね。日本は貧乏ですから何でも手でするし、時が掛るので實に日本婦人は可愛相になりました。夫人はなか〳〵面白い方です。御主人は地理に詳くして私が來ましたら早速地圖をひろげ東京と村上をさがして記されました。御夫婦で來春東京に行かれるとかです。是非〳〵皆樣にあつて頂きましようね今日はベイキンの日ですのでパンを作るのを見ました。明日は掃除日で電氣仕掛の器械で掃除するのを見ますの。けれど初てではありません。もう、空腹でたまりません。

十一月八日。朝、外は雪で眞白で吹き荒れて居りますが家の中は春の樣で暖かで御座いますの、今朝は寢床の敷布を取りかへる御手傳をしました。自分のベッドと夫人と御老母のとを致しました。此御家には八十四になられる御老人が居られます。私によくして下さいますの。今朝も御自分の御部屋の道具や御誕生日の賜などを見せて下さいました。して私のハンカチフに香水をつけて下さいました。御老人ですが耳はよくきこえますし電話も御かけになりますの。

十一月九日。朝七時半、今日は雪はありませんが丁度東京の大風の樣なのが吹いて煙突がブユ〳〵鳴つてます。五時半に大風の爲に目が覺めてそれから寢られませんから起きて仕度を靜かにし、下に來て此手紙を書て居りますの。今日はミセス、チヤーチと日曜學校及び禮拜に出席し晝の食事が一時で一人御客があり二時に電車で會に參りまして七時頃歸宅の豫定。今日は夕陽會に大勢の人を招きたい計畫でミス、メリルがジニーバー大會で視察の結果、非常に面白い考へと思はれたので色々準備して今日始て致しますの。廣告紙の大きさは縱一寸橫三寸(鯨尺)

色は桃色、字は黒、皆様想像して見て下さい。私は何も出來ませんが此の様な事によつても實際に神のよき使となり得る様にと祈つて居りますの。廣告のため私の名を借して下さいねといはれますから面白いと存じます。

扨、會の方の事は餘り申しませんが木曜日の晩日本女子教育の事など話しました。ミス、メリルが米國の普通の人達は花でもごた〱飾り室内の飾りがさつぱりしないから日本の生花をして見せて呉れと申されました。小さい菊の七本の枝極小さい物、七十錢と聞いて仰天しました、日本なら二十錢位です枝をもろく〱きられませんでした、おしくて。餘り成功でもありませんでしたから日本に皆さんが御出になつたら御覽に入れ様と思ふてますの、それから日本語の事など、私の持參しましたものを御見せしてまあ一寸御紹介して置きました。卅人許り集りました。なか〱盛會でしたが心中悲しくてたまりませんでした事は、或人は日本はまるでアイスの様な不文明の者である様に思ひ、或人はよく見ますがなか〱説明に困難を感じます。少し日本でも文明の影響を受て居る事を申せば、自慢の様にも見えますし、實際困りますの。

私はハイカラになりました。爪磨師が來て聽て一時間もかゝつて爪の掃除をしてくれました。其の人は青年會の會員で前の集りの時に來てましたので、顔をよく覺えて居りました。多分汚い私の爪を見たと思ひますの。兎に角に私が面白く思ふだろうとて來てくれました。一度は都合が惡くて無駄足をかけいよ〱先日來て仕て下さいました。普通なら一度が五十錢とかですが、たゞでしてくれましたの、またもう一度しなければほんとうにならないとて、また來ると申しました、氣の毒ですの、如何致しませう、其の人は御母さんと住居をして居ると申しました。

十一月廿二日、今日はミス、メリルの誕生日で午後から廿哩田舍の野球を見に行きます。朝食卓で諸

所から贈物の包や美しい花が澤山御友達から來ました全く自分まで花の香に醉され樂しく存じます。昨日は濕度七十度近くでまるで夏の初めの樣、御晝に電話がきて自働車を一時間半ばかし乘りませうとて二人の御友達と都合五人で近隣の田舍を廻りました顏に當る風の心地よさ、景色は日本の樣ではありませんが、湖と云ひ梢の葉のないのが如何にも美しくのび〳〵致しました。夜は集會で餘興があつて日本の歌劇でしたの十五人程の女が日本服、勿論米國式のものです。まあ立派な服裝とは申されませんが綺麗でした、音樂が美しく『御花さん』はしとやかに出來ました。鶯らしい鳥が御花さんのうたう時に可愛らしい聲で鳴きますので、全く日本らしく感じました。御茶の湯の時はたまらなくおかしくて涙が出ました。やたらに御辭儀をするのですもの、御茶碗をくる〳〵廻してこぼれるかと心配しました。着物は皆左まへ。けれど美しく出來ました。後でミス加藤はホームシックになつた泣いて居つたらうと申した人があつたそう。私は泣く處がおかしいのを我慢して涙が出て泣てました位。一種ちがつた日本の踊を米國に來て見ました。富士山と櫻花藤菊の飾でした。まあ面白い一夜を送りました。全く日本服とはちがいますが皆さんが御部屋で着られる時の着物ですから、何ですか一段日本服が低い樣に存じてつらくなりました。日本の通りかとの問には全く閉口。日本のはもつと〳〵じみで日本風ですからね。御互に完全な空氣を交換する事は不可能でせうね。けれど何か一ッ完全に互に御交換するものがあります。

愛の鞭

木岡莞爾

或る先生が先年傳道の爲め臺灣に渡られた時に、信仰上懸念せられた、一軍醫を訪はれ、親しく教もし慰もせられたが、其の後杳として音沙汰がなかつた。此程其人がふと或教會へ出席し、永年サタンに縛られた結び目が、神の愛の聖手にて解かれた感謝の物語をせられたから、其大要を書いて見やう●

境遇の變化は、信仰に影響する事尠からぬのであるが。同氏は以前三島にて或る宣教師から受洗せられて後、東京に或は名古屋、仙

臺に又は臺灣に轉任し、度々居所を移された爲に、教會の親しみを失ひ遂に冷にもあらず熱くもあらず、口より吐き出さるゝ信仰となられたのであつた。陸軍と基督教、水と油のやうであつたのも、其一因であつたかも知れぬ其後退職し東京附近で開業醫となられた。年來勤勞の結果、少々蓄財も出來たが、或人の勸めに乘り、株を買ふ氣になり銀行から預金を引き出された。折も折とて或る信用ある軍人の紹介があつて正直に見えた或る者に其金子を融通する事となつた。驚くべし之が全く詐僞であつて、或る軍人の紹介書も僞造であつた。隨分手痛き鞭であつたが(聖手の下打たるゝよりも打つ父の聖心いかに痛みますらん)幸ひ氏は愛の鞭を感謝を以て受られた此時同氏は「若し株で成功したならば、心傲驕、益々神に遠ざかるのであつたに」と、暫し隱れて居つた信仰の芽が萠出で來たのであつた。同氏は嚴に家族の者に向ひ自分の信仰を告白せられて曰く「世の中の人は最早信を置くに足らぬ之からは一家擧つて神に信賴せねばならぬ、妻も娘も一日も早く洗禮を受けるやうに準備するがよい併し長男は陸軍の幼年學校へ入學させる考であるから、彼自身の信仰から受洗するならば格別、親からは當分勸めまい」と。親の薄信から陸軍での迫害を恐れ、神の國と此世に内股膏薬な考を持たれたのであつた。神は亦之に强き笞を加へられた。噫立派な軍人にとの希望であつた長男は中耳炎に罹つた。しかも其膿が肺と心臟とを犯して内膜炎を併發し、四十度以上の體温が一ケ月も續いた程の重患となつた。兩親も最早絶望と覺悟し、主治醫からは手術も殆んど効がないと宣告せられたが、親の切なる願から、萬が一を賴みに手術を行ふ事となり。又牧師からも洗禮を受ける事となつた。是迄兩親は食事の祈も滿足に出來なかつたものが、此場合となつてから兩人期せずして、病床に熱き祈を捧げるやうになられた。噫不思議なる哉、手術後病人に醫術以上の或る力が加はつて、次第に快方に向ふた。彼は手術の爲聽力を失ひ、最早陸軍の人となる事は不可能となつた。又躊躇せし洗禮が全く反對の結果となつた。同氏は此大なる誠と戒とが動機となつて、信仰を復興せられた。終に襟を正していはれた。「一旦神を知つたものが、苟且にも神を蔑にする事があつては、其怒畏るべきである」と。

此家庭では近來金曜日には、香の物の外副食物を調理せぬ事にきめられた。其譯は第一十字架の御苦痛を偲ぶ事。第二克己自制の精神を養ふ事。第三其の費用を以て神に献げ物を爲す事等であるといふ事を聞いた。

○和歌

辻村靖子

○友愛の心を
おもへともえぞ憎まれぬなき親の
　おもかげしたるおもかげみれば
○懐舊のこゝろを
その人のなほましまさばふるさとを
　あれちのきくの野らとみましや
武藏野にありと云ふなる逃げ水の
　おふことかたき世をいかにせむ

いへをいでゝ十年みさりし瀧の上の
　　ふちの花みれば思ふことしげし

○

小田原　寺西良象

友情日に疎しと云ふことを

おのづから逢ふよもあらむの怠りはやがてもたゆる
初なりけり

聖書の中なる句のこゝろをよめる

あめにます神のこゝろに通ふらむ千くさの虫のちゝ
となくねも

述懐

おきて思ひ臥してわが思ふしきしまの歌はわが身の
戀にやあるらむ

花の上にこつたふ鳥をきゝしより歌思ふ身とわれは
なりにけり

物思ひありけるとき

なか〱に人は物をもおもひけり思ひなけなる鳥の
こえきけば

聖書研究

馬可傳研究

マクドナルド

基督の訓陶（一）

私は、先達、ボケーションといふ書物を讀みました時に、其著者は、「自分は或時「天職を擇ぶ事」と題する書物を讀んだ事がありましたが、其題目、即ち天職を擇ぶといふ語は、其意味からいへば、天職は即ち天職で撰擇し得る筈はないのでありますから「天職を擇ぶ」といふのは撞着して居ると思ふ」と書いてあるのを見ました。是は尤な事で御座いまして私共は唯だ天職を受けますか受けませんかといふ自由が御座いますけれども、如何しても自分勝手に天職を撰擇する事は出來ません、若し、自分勝手に之を撰擇すると致しますならば、其は既に天職ではな

くなるので御座います。

馬可傳を研究して見ますと、基督は其弟子達と一所に日々の生活を共にされて居ました間に、弟子達にその天職を授けられまして、その天職を完ふせしむるやうに、弟子達の訓陶にも力を盡されましたのである事を認めるので御座います。而して、其弟子達の天職といふのは何であるかと申しますと、其は一章十六、十七節、殊に十七節、及び三章十三、十四節、殊に十四節にある事柄で御座いました。今その記事に依て弟子達の天職なるもの丶内容を解剖して見ますと二つに分けることが出來るので御座いまして、其第一は『我に從へ』換言すれば基督と共に在るといふ事。其第二は『人を漁る』換言すれば敎を宣べ傳へるといふ事であります。

そして、先づ弟子達をして、基督に從つて起臥寢食を共にして、幸福の時にも不幸の時にも、人望のあつた時代にも不人望に陷つた時代にも、苦の間にも樂の中にも、如何なる塲合にも相離る丶ことなく、眞直ぐに誠實に神の道を歩むやうに、基督自身が其道を歩んで、弟子達の前に其範を示されましたので御座いました。

元來、基督は如何なる人物を選んで弟子となし給ふたかと申ますと、其は本當に意外でありまして、身分のある人とか、學者とかいふやうな方面からは一人もお選びになりませんで、其選び給ふた人物は漁夫や税吏其他身分もなければ學問もないやうな階級のもの計りで、所謂豪いとか强いとかいふべきものは一人でも無かつたので御座いました。而して其選ばれた弟子達にしても、一度基督の風貌に接して、是非基督に師事し基督の敎を受たいと思ひまして弟子になつたに過ぎなかつたので御座います。しかし、弟子達は日夜基督の側に在つて其訓陶を受けて、次第に基督の敎を了解するやうになりまして、終に基督敎會の最初の歷史に書いてあるやうに、卓越した人物になつたのであります。故に、基督が最初其弟子達をお選びになりました事は、其時に於て

完全なものであつたからといふ譯でなく、將來に於て大に爲すあるの希望を有ち給ふたからの事であつたといふ事は萬々疑を挾むの餘地がないやうに思はれるのであります。而して、基督の見込の誤らなかつた事と其訓陶の結果は使徒行傳などに現はれて居る弟子達の活動振りを見れば能く分るのでありまして、前に述べました使徒ペテロの生涯を考へて見ましても、その概略を推する事が出來ると思ふので御座います。

弟子達に對する基督の訓陶は、斯くの如く大なるもので御座いましたが、さて其訓陶の方法は如何であつたかと申しますと、前に一寸申ました通り、基督は弟子達と常に相離れずして起居を共にして其間に實際に當つて實物に就て敎へ導き給ふたのであります。今其一例を申上ますならば、基督の奇跡は即ち其で御座いました。

奇跡と申ますと誰れにも分り難い問題で御座いますが、其大なる働の深い意味を考へますと、それは基督に充ちた神の與へ給ふ能力と基督に溢れて居た慈仁心の發動に外ならないので御座います。而して此基督の爲されし事を目擊した弟子達は、直接に實物教育的に訓陶を受けたので御座います。

一章廿一節から卅四節にある事實は、或る安息日に基督が病人を癒し給ふた事で御座いますが、蓋しこれ病者に對する基督の慈心の發動であつて、誰にしても病に艱めるものを見れば直に癒してやりたい心の動くのは基督と變つた事はありませんと致しましても、基督にはこの心と共に働く神の能力が充ちて居りました結果は、其考へ通りに病者を癒す事が出來ましたので御座います。此の大なる働は之を實見した弟子達に對して、如何なる敎訓を與へましたでせうか、弟子達が、基督に對する尊敬と信頼を增すと同時に神の大能を確信せずには居られなかつたと思はれるので御座います。

それから、又た、二章一節から十二節を讀んで見ると、更に新しい教訓がある事を感ずるので御座い

ます。或日四人で一人の病友を床のまゝ擔いて基督の許に來たものがありました、其はその病友を癒してもらひたい友情からで御座いました。基督は其を見て、其病氣の事に就ては別に何とも仰せられないで誰だ「子よ汝の罪赦されたり」と仰しやつたので御座います。病人を連れて參りました友人の冀願は罪の事には及ばないで唯だその健康上の缺陷を心配して其を癒して戴きたいといふに過ぎないのでありましたから、基督の仰には少なからず吃驚した事と思はれます。しかし基督の御考では、其病人の眞の缺陷は決して肉體の健康上に存するだけではなくて大に精神的方面に存する事を認められたので御座いました。

今、これと前の奇跡とを比較して見ますと、其間に大分懸け隔つた點がある事が見へるので御座います。前の奇跡よりも此方は大分深い意味が含んで居つて、一言でいへば、肉體の健康よりも信仰、肉體の病氣よりも靈性の病氣を癒す事の大切である事を高潮しての教訓が明確であるので御座います。しかし、基督は罪の赦を宣言されると共に其病人の病患をも全治し給ひましたのであるから、靈肉の健康は共に存ぜなくてはならぬといふ事の深い意味をも教へられたといふ事が分るのでありました。

私は、弟子達が以上の二回の奇跡に就て實際に之を見て、深い基督の御教訓の眞意について解得する所があつたかを思ふて、更に基督の訓陶が形式や議論に在らずして、各其胸裏に打ち込まれるが如き實際的のものであつた事を感ずるものであります。

（未完）

彙報

●御奉送

照憲皇太后陛下御大葬儀につき五月廿四日日本基督教女子青年會は幹事、委員等代々木御大葬式場に參列、謹て御奉送申上たり。

●中央委員會

日本基督教女子青年會中央委員會は五月九日午後三時より本部に於て開會。出席者は井深花子。津田梅子。小此木松子。三谷民子。山田千代子。河井道子ミス、ウエスト。ミセス、クレメント。ミス、ソール。ミス、マクドナルド。ミス、ページ。ミス、レーガン。及び大呑久子河口正子の兩事務員にて、尚ほ横濱女子青年會を代表されし芳尾千代子小池實惠子兩姉も列席されたり。先づ、前會の記錄朗讀ありて後、左の報告及協議ありたり。

(一)**記錄中の事項につき協議** 横濱に於ける調査報告、即ち渡米する日本婦女子の世話保護指導等の方針に就き、ミス、マクドナルドより報告。

(二)**會計報告**

繰越金　六百七拾七圓八拾參錢
不足金　四百六拾八圓六拾四錢

内譯

横濱　金七拾九圓四拾七錢
雜誌　金參百參拾九圓五拾九錢
（但この不足金は前年度以前のものにて本年度には不足なし）
修養會　金四拾九圓五拾八錢
（大正二年度不足は百餘圓なりしも特別寄附により減額せり）

差引殘金　貳百〇九圓拾九錢

(三)**夏期修養會** 委員中鈴木歌子は辭任につき新に古田とみ子及女子大學敎諭小池實惠子を擧ぐ。委員長未定。時日は自七月廿一日夕至廿八日夜。聖書の組は四組、講師は各委員の指名を待ちて決定するこ

と。
(四)雜誌『女子青年界』　目下千二百部を出版す經費は昨年九月より不足を生ぜず中々困難なれ共將來有望なり。
(五)東京女子青年會　幼稚園新設のこと、旅行者保護は良結果にして十二月中旬より四月下旬に至るまで五十人の子女を保護所に宿泊せしめ停車塲內にて救助せし者枚擧に遑あらず又奉公に遣はしゝ者十數名あり。外人宿泊所　ミス、ダルトンの盡力にて同所は追々發展し五月一日まで四名の日本語研究者、五名の事務員、七十四名の宣敎師及び八十四名の觀光團を宿泊せしめてありき。
(六)横濱女子青年會　同會の爲今秋よりミス、マクアサーを幹事として派遣せられんことを米國女子青年會本部に申込の動議は滿塲一致にて可決。
(七)雜件として
イ、目下米國にては外國青年會の爲集金中なるを以つて日本も其中に代表されんとするを以て今後五ケ年間に於て本會事業に用ゐる金額の豫算及其使用に付協議せんため左の委員を擧ぐ。ミス、デントン。ミス、トリストラム。ミセス、ビカステス。新渡戶まり子。小室みや子。今西糸子。井深花子。津田梅子。ミス、ウエスト。ミス、マクドナルド及び河井道子。
ロ、役員は一同再選せらる。
ハ、幹事ミス、ワットネーは病氣保養の爲歸英、ミス、マッシユーの歸京は明年一月頃。新にミス、アズグードは米國より日本に派遣され九月に到着さるべし。
ニ、岡見けい子夫人は令孃の遺言に依り金百圓を本會に寄附さる。
ホ、從來本會の同情者ミスター、ミラーは今度歸來に付、金四百圓を本會に寄附せらる。
等の協議報告等ありて閉會したり。

●東京女子青年會　第八回總會　六月八日牛込區納戶町第一寄宿舍に於て第八回總會を開催し、

事業報告、協議等をなす筈。
▲寄宿舍　納戸町、安藤坂兩寄宿舍共漸次好都合にて今學期は何れも滿員の狀況なり。
▲新入會　其後の分左の如し。

(通常)　淸田ゑい子　內田すみ子　木下さと子
三宅とも子　廣田たき子　河口　正子

●新設幼稚園

先月號に既載の如く今回本會經營にかゝる幼稚園は愈々六月一日を以て開始せんとす、場所は小石川區金富町五十二番地福岡子爵邸內の一部分にして兒童敎育の上には適當なる場所なり。保育主任は大槻愛子にして管野田鶴子は之を補佐すると共に特に母の會或は家庭訪問等を擔任して將來幼稚園を中心とし嬰兒預所或は母の會或は父兄會、母姉會、傳道說敎會等をも計畫中なり、女子青年會は此一支部を設くるに當り新渡戶まり子を委員長とし他に女子大學幼稚園主任甲賀ふじ子、小室みえ、柳澤米子、ミセス、マラ其他兩三名の姉妹を委員に擧げたり。

此幼稚園は主に勞働者の家庭よりの幼兒童を集むるを以て主意となすを以て諸兄姉よりの同情を受け金員或は物品等の寄附を以て之が經營を支へんとするものなれば、狀袋、切手、水引、玩具、文房具、衣類等何物によらず新古を問はず、直接幼稚園に或は本部に宛てゝ御寄贈を賜はらば幸甚なり。

●三井病院

女子青年會委員は每日曜日月曜日に同院看護婦の禮拜、祈禱會に出席なしつゝあり。又五月十七日同院に於て看護婦二名千駄ヶ谷敎會南廉平牧師より受洗す。十八日五回生の歡迎會を院內に開き青年會幹事友人等列席し頗る盛會なりき河井道子司會をなし南廉平牧師の祈禱第一高等女學校敎師鈴木信子の獨唱、立敎大學校長元田作之進先生の說敎等ありて午後九時閉會す。

●横濱女子青年會

五月九日同市茂木氏の邸園にて園遊會を開きたり。今横濱青年會幹事久野久子の報告を揭げてその模樣を報ぜん。

●横濱女子青年會誕生日會

五月九日我横濱女子青年會は市内老松町茂木氏別邸庭園に於て誕生日會なる集會を催せり當日は朝來より裝飾準備に取り掛り室原、高木、野村、杉田、藤田各夫人其他の諸姉共立フェリスの諸先生及生徒方まで非常なる御盡力下され午後一時より開會したり。門前には人力車馬車自働車の時ならぬどよめきをなせり。式場には山下姉及び門下の生花他に西洋花茶の湯等あり。午後三時よりは野澤樣の先生にて態々東京より御出で下されし方の謠曲フェリスの林翁先生の舞踊等ありたり觀客頗る多く内外二百五十有餘名殊に西洋の方多くグランドオリエンタルクラブホテル等よりの來園者も多かりき。

次に食堂には風月のアイスクリーム菓子竹のすし、青年會の出品賣場等を設けて盛んに客を引けり殊に庭園内の茶席には薄茶を點じて外國人に供せしが岩本夫人の御盡力にてこれも大成功を奏したり

此庭園は一萬五千坪餘にして毎月十二人の植木屋と四人の婦人が入り三人の監督の許に充分の手入れ行屆き來園者をして驚歎せしめたり、先づ十ケ所のあづまやを始め築山の頂上よりは水道貯水場を臨み綠蔭滴る内には松の香いと床かし加之藤躑躅など美しく咲き亂れ竹籔の間にはいと事なる竹の子の太く生ひ出でゝ又彼方には梅林の別院ありて梅の門をくゞりて行けば花の片身の梅の實の靑葉と共に育つも面白く仙境に入りし心地して一日をらくに送るを得たり。

思ふに我が女子青年會生れて玆に一歳に滿たんとするに當り此の盛大なる誕生日を持つ如何なる幸福ぞや是偏に諸姉の女子青年會を愛しみ給ふ深きによると感謝の言葉なし。殊に諸姉の此事業に熱心なる御盡力は實に驚く計りにして此の會の準備には數日前より東西より御繁忙中の時を割きて來られ内外一致して御奔走下されたる事は筆にも盡し難し。女子青年會は愈々發達して必ず近き將來には諸姉の期待に酬ひんとす。

因に記す、此誕生日會と云ふは、己の年數だけの金を袋に入れ即ち二十五歳の人は二十五錢なり二錢五厘なり、二圓五十錢なりを入れて寄附として持行き相共に一日を樂く送るの催しなり、横濱にては入場券に場所、時日等の外左の句を記したり。

園遊會あり玆にあり　君が誕生日の御祝を
玆に寄んとて催すなり　今日は生憎君が世に
生れ玉ひし日ならずも　今年は抂げて今日の日を
君が祝の日と定め　玆に來まして皆人と
共に一日の歡を　盡し玉へや會費には
此小袋に君が世に　存らへられし御齢の
數に等しき金額を　入れて土産とし玉へかし
猶差支さし起り　御出席なき其時も
喜捨の袋は御忘れなく　必ず人に托してなりと
屆け玉へや　屆け玉へ

尙この會の純益金は横濱女子青年會の維持費に充つる事とせり。又六月上旬にはバザーを開く豫定。

●横濱共立女學校青年會　當校青年會にては大正三年三月二十三日事務會を執行し本年度の役員及委員の選擧を致し候處左の如き結果を擧げ申し候。

役員。會長、松本松枝　書記、稲沼須磨　會計、岩

澤房子　委員。傳道部々長、長谷川とよ　書記、兒玉きくよ　會計、三浦みさを　祈禱矯風部々長、山口あき　書記、坂本とし　會計、名倉みち　文學部々長、岩間聖　書記、吉澤きく　會計、武笠みつ　運動部々長、岡野としへ　書記、平野はつゑ　會計　牧野きみ

右の内なる祈禱矯風部は祈禱部矯風部の合併いたしたるものに候又運動部を新たに設け生徒の運動を奬勵致し居り候。（書記　稻沼須磨報）

●旅行者の友報告

上野停車場に於ける働きは益々衆人の便宜となり警察署、鐵道院等にても此事業を公認し愈々發達の域に達せり目下博覽會開期中なるを以て普通一般の旅行者の爲係員は充分なる世話をなし停車場内に於ける用務數多きに至りたるに從ひ地方よりの逃亡者、家出者等の救濟は幾分かは減少の傾向なり、こは夏期に近きを以て農家多忙にて働人を要するに由る事なるべし。係員は婦女子の世話のみならず男子にて職業を得ず二三日も絶食せしものを助け、或は怪我せし勞働者、唖者、酩酊者、無錢旅行者、田舍紳士、家出小僧、又日光歸りの外國人等種々雜多の世話をなし益々旅行者一般に便利を與へつゝあり、時には誘拐者の小女を連行かんとする時係員の近くを見其胸に輝く徽章を見て急ぎ逃げ去る事あり、感謝すべきことなり、又車夫が無闇と婦人に乘車を迫り居る時など、是を制して電車に乘せやり或は先方に送り屆くる如きは毎日の仕事となれり、或時は世話をなし却て不足を云はるゝ事あるも又赤心よりの禮を受け人情の溫を味ふ事もあれば、笑止千萬の事にも往々出遇ひ、同情の涙禁じ得ざる經驗もなし或は福音書を與へて乘車せしむる者もあり、閑暇の際には赤帽等に傳道の門戸を開く便もあり、實に多忙にして多望と云ふを得べし。

某日青森より親子四人の一行あり山梨迄の通切符を所持するのみ懷中一錢なく上野より新橋迄の電車賃なし、夫は死別し一家をたゝみて三兒と共に娘の許へ行く寡婦にて、列車中小供等空腹を訴ふれど如何とも詮なしとて涙と共に談る、電車賃と食費僅少を與ふれば彼女は喜び極り「アヽあなたは神樣に違へネーダ」と「否私は神樣で

はありません神に事へて働いて居る者です」と答へれば彼いぶかしげに「何の神様ケー？」「基督教の神様」と言も終らぬに「ア、耶蘇の神様ケー、ア、有難テー」と感謝の體、折しも發車近くなりしに能ふ限り心を添て袂を分つ、先には佛と呼れ今又神と稱へらる之も職務の賜物なるかな。

又或日山形より來りし少女信玄袋と包を携へ場內を去る、行先を問へば父に叱られ母の承諾を得て知人を便り上京したるも其家遠ければ今宵は附近に宿を借り明日は尋ねんとのこと、こは危險なりとて本人を保護所に伴ひ色々と諭し數日を宿らせて後詫狀を齎し係員の知人の北に行く者に頼みて同行させ其父親に詫びさせしも世には鬼の如き親もあるものかな、父親は我子を送り戻されし事を却て不滿に思ひ、殆ど當方の責任なる如く、アスアサマタヤル、イゴカレノコトカカワリナシと打電しいとも無禮な手紙に今後拙宅も多忙で又無筆ゆゑ此娘の事につきその御手紙は一切無用又決して開封致さぬゆゑ其積りに願ふと申しよこし當人を又々東京に送返したる等宛然で噺の樣なり、かゝる父のある者に天の神は父の如しと教へたりとて何の印象あるべき、愛の神てふ感念は何に依て與へ得べき歎息の限りなり。

現在我が手を經て他に奉公に出したるもの十六七名に及べり、逃亡者、或は兩親の許可を得てむやみに上京せしもの丶處置につきては當局者も苦心の由なれど幸にも此事業の處々に知れ女中の申込多きに至りしを以て今日にては一人も徒食なし居るものなきに至りしを感謝す。中央停車場開始に至らば是非とも場內に一室を此事業の爲に準備し益々手廣く公衆の保護、便宜を計る事に當らんとして幹事は目下鐵道院と交涉中なり。

●萬國基督教女子青年會大會

萬國基督教女子青年會は來る六月上旬瑞典首都ストクホルム市にて第五回大會を開催、米國在學中なる渡邊百合子姉は日本を代表して同會に列席の筈なり。

雜報

○大正博覧會聯合基督教傳導會教報　本月四日より拾七日迄二週間の傳道狀況を報ぜんに最初の一週間は日本基督後の一週間は福音美普聯合して傳道せり其間聽衆總計壹萬壹千七百〇八人（一日平均八百人）求道者二百六十六人（一日平均十九人）トラクト配布高實に拾壹萬六千枚なりき。集會度數日本基督七十一回にして雨天續きの福音美普も

尙克く三十九回祝禱に滿ちたる集會を開く事を得たり。求道者の内には事業失敗より零落し家族離散の悲境を見るに到り悲痛の餘り氣を腐らせ望なき世に餘命を保つも詮方なしとて自殺をも辭せざる覺悟の者もあれば放蕩遊惰の極遂に罪を犯し刑餘の人となりて本月四日市ヶ谷監獄を滿期出獄せし前犯三犯を重ぬる某の如きは偶々當會に立寄り大きにキリスト敎の眞理にうたれ過去の誤りたる生涯を深く悟り酒癖の恐るべき罪の媒介者となる事を認めたるもの丶如く改悛の情眉宇に溢れながら正業につく事を誓つて立歸へり態々喜の餘り感謝狀を寄越せるあり又爰には父は亞拉比亞人母は朝鮮人にして既に兩親共歿し諸方を流れ渡りて偶然當館に立寄り救助を求めし可憐なる一婦人もありき。

消息

○男爵ラベレー女史　五月十三日白耳義男爵ド、ラベレー女史の爲本部に茶話會を開く、同孃は白國婦人矯風會々長として熱心なる婦人問題首唱者なり。同女史の嚴父故ラベレー男は有名なる經濟學者にして著書多く日本に於ても學者社會に大いなる裨益を與へしものなり、東京女子靑年會々員櫻田節卿姉の夫君は數年間同男爵の薰陶を受けられしとぞ。

○クラーク夫人　米國組合敎會婦人傳道會社々長クラーク夫人は同令孃と共に五月十七日本部を訪問され後納戸町寄宿舍にて晩餐を一同と共にさる。

○リード女史　本會創立以來の會員として同情をよせられたる同女史は一ヶ年の豫定にて五月十七滿洲に向け世界漫遊の爲め出發さる。

○山田禰三郎氏　横濱市會議員なる同氏は突然五月十八日永眠され二十日指路敎會にて葬儀を行ふ、同氏は横濱女子靑年會創立の際非常に盡力せられ同夫人は同會創立委員の一人なり今回此訃音に接し御遺族の爲滿腔の同情を表し上よりの慰藉の御家族の上に在らん事を祈る。

○河井道子　五月七日横濱愛憐女學校に於て母の會にて講話をなし九日東京本鄕中央會堂にて婦人會の招待をうく。

○加藤李花子　爾來靑年會の事務員たりし同姉は今回都合により辭職す。

○大谷久子　加藤李花子姉に代り東京女子靑年會にて事務を助く。

○河口正子　女子英學塾卒業生同姉は女子靑年會本部の事務員となれり。

○萱野田鶴子　同姉は小石川に設立せし幼稚園内に家族引連れ移轉の後本會の同事業を助け近隣の家庭訪問の責任者となれり。

○櫻井敎授　大阪プール女學校理科敎授櫻井女史には今回聖公會にて受洗の由、同姉は同我女子靑年會等のため平素盡力せらる女史の上に祝禱あれ。

○ミスソール　神戸女學院長たる同孃は五月九日上京して女子青年會中央委員會に出席す。

○ミストリストラム　大阪プール女學校長たる同孃は五月二十二日本部訪問。

○隈元清氏　歯科ドクトル隈元清氏は米國リンコルン歯科大學及ハスケル歯科大學院卒業 後約二十ケ年在米 開業中なりしが今回歸朝麹町區土手三番町に於て新に開業さる。

○芳尾千代子　横濱女子青年會員たる同姉は今回大森日本基督敎會に屬籍さる。

○正誤　前號「心に愛るなかれ」の中十歳とあるは十六歳のあやまり、又表紙要目中の梅田は柳田の誤りにつき何れも正誤す。

○挨拶

河口正子

本年三月に先生方の御蔭により無事に女子英學塾本科を卒業致す事が出來神樣に御禮を申上げ、今後何か働き甲斐のあることに献身したく思ふて居りました矢先に圖らずも女子青年會本部に執務することゝなり感謝に堪えません。

自分の樣な者が如何にして神樣の御用の爲斯る青年會の如き大事業の一部に働く事が許され斯くの如き聖き仕事がどうして與へられたのかと思ひますと唯嬉しくて胸が一杯になりました。そして今更ながら神樣が私の樣な力のない信仰の弱き婢をも御見捨なく御用の爲に特に使ひ給ふ其の妙しき攝理に深く感じました併し熟考しますと自分の双肩にかけられた責任の重い事を思ひこれを立派に全うする事が出來るかしらと恐ろしい樣な心配な樣な感じが致します加之學校にのみ長く居りました爲事務には少しも馴れて居りませんからあやまち計り致しはしないかと存じますが然し唯神樣の示し給ふ道に進み事毎に祈り萬事を諸先生の御指圖のまゝに致して自分の全力を盡し及ばずながら祈禱によりて得る上よりの御力を以てこの會の爲に幾分なりとも盡す事が出來ましたならば如何に嬉しい事かと存じます。

此度私が女子青年會の事務を御助け致す樣になりました事につき茲に一言御挨拶として申し上げます。

讀者便り

○マクドナルド先生の馬可傳研究

大阪　馬場靜江

先日女子青年界御送り下され候て有難く御禮申上げます雑誌中に河井先生が朝鮮での御觀察を拜し候てうれしく存じました又マクドナルド先生の馬可傳の研究はほんとにうれしく存じて居ります此度新らしき幼稚園の事業を御始めあそばす由益々青年會が發展し世の中に益をなし若き婦女子に神様を知らせつゝあります事を心からよろこんで居りますなほ〳〵御事業の成功を遙かに祈り少しでも自分もおたすけ致し度いと存じて居ります。

○熱心な日蓮宗の信者で御座います

弘前　淺井はる

今日女子青年界誌上にて拜見いたしましてうれしく神に感謝いたしました私は此頃同じ學校につとめて居ります同僚と自炊生活をいたし初めました宿主は熱心な日蓮宗の信者でございますが一體に宗教に興味を持つて居る人でございまして平民の福音を借しました所が熱心に讀んでもつと此種類の本を借して下さいと申して居ります某友に只今も旅行先を讀んできかせました所が「さう云ふ事を考へると妾等ほんとに怖ろしくなつてとても此まゝにじつとして居られない」と申しました、私の周圍には右にも左にも致さなければならない仕事と導かなければならない人とが澤山ございます、そして私は自分のあまりに無頓着であり不信仰であつた事を悔い且悲しんで居ります私はどうして手を伸して神様から力を頂く事に躊躇して居りましたので御座いませうか、私が此所へ持つて參りましたいろ〳〵の理想は今になつて考へて見ますと皆ほんとにつまらない事ばかりで御座いました私は何よりも今此土地によい種子を蒔きたうございます、一粒でも二粒でも學校にても家にても傳道が必要と思ひますそれですのにともすると私の心は無頓着に冷淡になつてしまふ事がございます、そしてそんな時には是等の尊い責任を皆自ら忘れてしまつて居ります何かの刺激にぶッつかると目を醒された様に周章てゝ神様にお詫びやお願をいたすので御座います私はどうして始終刺激に目を醒された時のような緊張した氣分を持ち續ける事が出來ないのかとたまらなく殘念に存じます神を求めて居る女生徒に讀ませます樣な本を御教へ下さいませ御願ひ申上げます。

○女子青年會を創立致す事に相成候

弘前　岡本みどり

弘前女學校に女子青年會を創立いたす事に相成申候生徒も幼く候事とて是非私に會長にとの校長ミス、アレキサンダーの御仰に候間不束ながら大責任を負ひ申候定めし先生方も御よろこび下さる事と存じ居候昨日は女子青年會たるその由來目的など講堂にて話し致し候全校生滿場一致の賛成にて議決いたし候次第に候それにつき規則制定につきいろ〳〵長短相補ひ度と存じ候はたして成功か否かは判然致しかね候へども此のまきし種子のやがて成長して此の淋しき北國にも溫かなる神國を實現いたさるゝ時もあるべくと信じ居り候何卒皆樣御祈り下さるゝ樣願ひ上げ候私はうれしくてホームシックも忘れ候しかし又もう數旬日にて歸省の身かと思へばうれしく候社會學校の第一年第一學期修了生と相成るべく候出來得べくは大津の修養會にもと存じ居り候へ

ども學校は二十五日まで御座候由に候過去一年間の經驗の無にならざるはまた神の惠に候か私事當地に參り候始めは淋しくもあり言葉通ぜず誠に困り入り候これにては大變と出來る丈忙しき思をいたさんとて讀書し聖書を研究致し愛する句を書きとり英語教授の教案を作りなどいたし候てひとり慰め居候御蔭樣にて日增しに靈の糧を蓄へ又生徒にも分ち與へ居り樣々の經驗をいたし居り候學校の教授は愛と誠とによるに限ることを發見いたし候いろ〳〵の小供を教化すること中々の骨折に御座候幸に追々生徒にも親しみ言葉もわかりて面白く相成參り候へども每夜々々祈禱によりて失敗なかれかしと念じ居り候「汝死に至るまで忠信なれ」とのキリストの御言葉私の今年四月よりの格言といたし居候「人はパンのみにて生くるものにあらず」との御言葉を私はしみ〳〵感じ候。

○祈りて力を得る事を敎へられ

札幌　高橋みづほ

本年は私事校務に追はれて女子靑年會の爲に思ふ存分働く能はず殘念に存じ候されどいづれの道も神の御榮の爲同胞姉妹の御ためと思ひ日々つとめ居候、學校は谷口姉內藤姉の如き方々を失ひ私共の如き若輩許りにて途方にくれ一時はたゞ涙に暮れ居り候ひしが祈りて力を得る事を敎へられそを實驗し得る人の幸福を味ひて只今にては感謝いたし居候。

○バナナ畑を前に橫は南洋館

臺中　高水はつ子

二十六日の午前三時半頃船は基隆に入港致し船室から燈臺の光、あたりの山や市街など眺めました時何とも云へぬ思ひに滿たされました基隆の築港の立派な事想像以上でした松岡樣の名刺と添書を持參の方の御出迎をうけて御一所に臺中までの三分の一程參り其處で御別れして自分は臺中にと進み臺中驛に到り手荷物を赤帽に賴み度と存じ一寸出ましたら松岡樣御自身が丁度今から臺南に行く用事が出來た故、明日歸宅であるが先づ休んで居てくれ又子供等が皆々樂しみにして居り迎へに來て居ると申されました。一寸前を見ましたら三人の愛らしい御子供等が皆洋服で乳母と共に私のそばに來て「先生」とおじぎをせられましたので嬉しいやらはづかしいやらで今まで暑くて赤く成て居りました顔は一層火の樣になりました、又荷物などを世話して下さる方もわざ〳〵松岡樣から御遣し被下ましたので其の方に先生から頂戴致しましたチエックの紙を渡し荷物を取つて戴き皆々共に車で御宅まで參りました車上での思ひ何とも申されません程でした嬉しいのですか悲しいのですか自分でわかりませんでしたはげしい旱で乾き切た道を過ぎて靑々としげつて居る木立と美しい花の咲き亂れて居る屋敷に入りました時何ですか新らしい望が有る樣でもあり又心配にも感じました、車がつきます前から奥樣が玄關に出て私共の方を見てにこ〳〵して御迎へ下され誠に嬉しく存じました皆樣があまり叮嚀でおどろきました奥樣の御兩親等まで御出下さつて誠に御親切な御言葉をかけて下さいまして何から何までよく行き屆き實に御親切なので何うしてよいかわかりませんでした誠に奥樣は私の樣な赤子の何も出來ない愚な者を眞から喜んで御迎へ下されそれは〳〵親しくして下され勿體なく涙が出さうでしたが前では出しませんでした。後で奥樣が屋敷全體を御案內下さつて色々とお話しをして下さいました誠に心地よい美しい見事な庭を眺めて又南洋館と申す南洋植物や蘭などばかりある所を見

ましては東京を思はずには居られませんでした、其日は午後三時頃安着致しましたのです夕方お湯を戴き頭付きの赤飯を頂戴いたし只々感謝の他は御座いません食後も奥樣と色々の御話を致し休みましたのは十一時頃でした翌朝はおあづかり致す富美子樣の小學校に奥樣と御一所に又今一人の正治樣とて五歳に成る御子供と共に參り先生に御目にかゝり又教授法などを二時間丈見て後鎌田牧師の御宅に伺ひました、一週間目毎に此の會堂に參る事が出來る事が如何に樂しく又幸福であるかと一人心の中で喜んで居りました。

私の居ります所は御存じのパナヽ畑を前に見横は南洋館と續て居りまして十四疊二間で一方は花莚を敷きつめ大きい一つのテーブルの廻りに小さい籐椅子が數脚置いてある片隅にはテーブルがあり前から硯箱やテーブルかけなど皆お整置き下さつてありました又筆や筆立てまでもです此處には少し丈の高い椅子が置いてありますが大方皆樣と一所に低い椅子に居りまして色々と話したり又一寸の復習などを致したり又讃美歌を御教へ致したりして居ります。

今は美しい花が庭に咲き亂れて芝生は青々として居ります池の水は日中は河から來る水が少ない爲流れませんが夕方からは誠に涼しいよい音をして流れて居ります毎晩その音をきゝながら何とも云はれぬ感じに滿されます何うか此の池の流水が弱い者の心をなぐさめはげましてくれます樣自分も小さくありましても淋しい方の友となりなぐさめ者となり度いと願つて祈りて居ります。此の庭や家を見ますと臺灣に居るとは思はれませんが前のパナヽ畑を見ますと如何にも音に聞く椰子の果みのる臺灣であると思ひます毎晩虫の音を聞きますと去年の夏田舍で子供達と樂しがつた休みを思ひ出し「千草八千草亂れ咲きて」の歌を一人で口ずさむ事が有ります。

○始としては林檎の袋を張る

札幌　横澤つぎ子

今聖書をよみポーロやシラスが獄吏を神に導びきし處をよみ一人涙をながしてゐました處です神に接する時ポーロの如き偉大の人物に接する時ほど心のしまり愉快に且心が何と申しませう一段別の世界に入る時はないと思はれます。先生私は出來る丈働かうと思ひ十八時間のを二十四時間にしました身體を惡くでもしたら反つて罪と思ひ注意してゐます、神の爲に自分の身體を大切にして無暗と働くばかりが良いといふものでないとわかりました私は聖書の會にてドレパー樣を失ひ大變悲しく思ひましがこの前の水曜日ほど自分で氣持ちのいゝと思ふた事はありません水入らずの樣に思はれ私がはなしてるうちに涙が出て來ました「爾等は地の鹽なり」の近所をやつたのです生徒もよくきいてくれました神の攝理にはつく／＼感じました私が餘りドレパー先生にたよつて歌を教へて頂いたのですから私の目をさまさせる御つもりなのでせう實際さめました此の前から出席をつける樣にして居ます又生徒に私が追々には其の聖書の會から修養會に代表者を出さうと申し又東京の先生方に來て頂いてもう一歩と申す所を話して頂きませうと申しましたら昨日生徒の方から申出て編物や縫物をはじめるとの事今手始めとしては林檎の袋をはるとの事で驚きもし感心もし實に皆の熱心さに泣かされました一人々々の生徒が皆有爲の人物になつてくれる樣に祈つて居ります。

○宗教心が少ないからであらむ

鹿児島　青山英子

只今はかく遠くに居りましても雜誌上で先生方の御意見を伺ふ事が出事ます幸福を有難く御禮申上げます何卒御教訓下さいました神様の御言葉を一人の未信者に御傳へ申度きものとひたすら祈つて居りますので御座います何か私に出來る神様の御仕事はなきかと祈つては考へますがまだ時期が參りませんと見えまして好き考へも浮びません御恥しい事ですが離婚と精神上の犯罪人は鹿兒島市が九州一ださうで御座います宗教心が少ないからであらむと新聞にさへ出て居りますが實に唯我獨尊で決して他人の言葉を心に善と知りてもいれません昔の武士道も今の世には到底其まゝ用ゐらるゝ者では御座いません、女はまるで奴隷で御座います服從は女の美德で御座いますが惡いと心に考へました事は女でもそれに抵抗する樣にならればなりませんと存じます。私は神樣は正しき者を守り給ふといふ確信が御座いますからいつでも心強く感じますがまだ〱弱い者で御座いますが少しでも敎會の爲めにも何かして御手傳申上げたらと思ひますが心のみで殘念に存じます人知れず祈つて居ります今二三年私は隱れたる人として祈ります神樣が選びて與へ給ひし私の務めをはたしますまで丈夫で働きます何卒いつまでも御見捨なく御敎へ御導き下さいませ。

○淋しいだらうとて御訪問下さいました

廣島　一條こと子

私の奉職して居ます此女學校は佛敎主義では御座いませんが基督敎排斥は甚しう御座います生徒にて敎會に出入する者は當校を出て貰ひ度いと校主は入學式に申されました、併し此は熱心に女子敎育の普及に努力し又其手段として父兄の要求を容れなければならぬ點から必然かくなることかと存じます。ミスヂユリアスと云ふ方が淋しいだらうとて今日御訪問下され實に其御親切は一生忘るゝ事が出來ません、私は自分の困て居ることを御咄し申上たら何でも出來る丈盡力してやるとのことです、私は日曜學校でも御手傳いたしたいがオルガンが出來ませんから是からいたします。

○役員に當選されました

在米　渡邊百合

三月二十二日

まつとは嬉しい樂しいまち遠しいものですれ、加藤さんの來られるのがまたれません時があれば森に行かうの何處を見せて上げやうのと一人で樂しみに考へておりますこんなに友人てよいものでせうか丁度二週間と三日するとインヂヤ　ポリスで一緒になりますルキス樣も御樂しみの事と思ひます。

先日の木曜日の我校内青年會の集りでは丁度新役員に席をゆづる時で過去一ケ年の報告がありましたいろ〱の役目があり實に行きわたつたものと新に感心しました、會で報告の内宗敎部の部長が私に御禮をいはれましたそれは私が毎木曜日の會の時テーブルにおく花を一ケ年間責任を持ましたからでせう私は此度新役員の一人に選擧されましたこんなものでもと思ひますが人々の役に立ち又自分の發達になりますならばと存じ喜びて責任を負ひます。

四月四日　今日は一人で二時間程運動しましたよい處があつたらば座つてこの手紙を書うとして持つて參りましが處がなくてどう〱書ず二時間歩きました二人以上で行けば森にでも行かれますが此の頃は一人では行かれぬ事になりましたから一人で散歩をしたければ學校の門の前の道をあるくより外出來ませんそれでも田舍路ですからよい氣

持です、一體二時間も運動に過ごすとは隨分時間に寛大でせう今日正午までさん〳〵勉强やら忙くしましたから二三週間振で淸々と一人で運動し廣々とした原や美しい靑空をながめながら靜かに考へつゝ歩きましたよい氣持になつて歸りました。

先日當市の選擧は飮酒店を許す方が勝ちました如何にも殘念でなりません學校の先生方や男學生は一生懸命でつくしましたが仕方がありませんでした、此處は町外になつておりますので學校の男學生は投票する事は出來ません皆殘念がつて居ます、でも其の當日には町の選擧を手傳に皆行きました飮酒黨と禁酒黨と町の兩側に立ならんでおつたさうです。飮酒黨の首には酒店の主人その味方で實にその彼等の竝んで立ち居る様子を見ても兩方の人柄の對照がそれは〳〵よく表れて居つたさうです、

殘念なのはイタリヤ人の勞働者とか獨逸人とかが皆飮酒黨の方でしたので外國人の爲に主義黨が敗北したのです、又彼等は金があるのであらゆる手段を取つたとの事。まあともかく終りました。然し十ケ年間に此アーラム大學で酒を飮む者僅かに一人あつたのみですつて、私聞いた時にはおどろきましたよい記錄(レコード)ではありませんか。

○この山奥に居る信仰弱き私共の良友

群馬　入澤たま子
蜂巢はな子

學校に居りました頃は先生方の御高説をうかゞふ折が度々御座いまして靈の糧も豐に戴く事が出來ましたが、此度故鄕へ歸りましては其機もなくなり心細く覺えます「女子靑年界」は此山奥に居ります信仰弱き私共の良友となり何時も大なる力を與へてくれます、何卒この後ともなつかしき雜誌を御送附下さいまし。

○會友申込（本部報告）

（維持）眞鍋チトセ　齋藤むら子　馬場靜江
（普通）水野萬壽子　田方田春枝
松本まつ　金山たけ子　井牟田やすの

○會友會費領收（本部報告）

金壹圓

芳尾千代　吉田梅子　神宮茂子　小野貞世　松本松子　伊藤ちせ　疋田たつ　和田周子　京野きん　宮川君江　眞鍋チトセ

武田充子　馬場靜江　若松りち　神代小美　柿原春子　丹羽きよ　坂出夫人　吉松靜子　河井道子

寺尾たま　左原延子　松永夫人　中岡りつ　諏訪ふみ　三宅きみ　鈴木すゞ　四宮みき　水野萬壽子

和田キシ　田中里子　藏田咲子　仲田あさよ　橋本幾代　佐藤かつ　國分みれ　白上近子　井牟田やすの

金五拾錢
金貳圓　齋藤むら子　ミス、トリストラム

○雜誌「女子靑年界」代金領收

金七拾錢

駒澤みち　高橋まさ　竹尾けい　中野たみ　ミス、バービス　同志社女學校

前田はな　瀧澤　平沼さく　大塚よね　神戸女子神學校　盛岡女子靑年會

吉安まさ　村上らん　上野ため　羽田野てる

河野ゆき　渡邊とよ　馬屋原妙　ミス、バゼル　ミス、モンク　朝比奈よね　津田敏子

金參拾五錢　廣瀨長康
金壹圓貳拾四錢　安東縣基督敎會婦人會
金五拾錢　林田鶴子
金壹圓　廣島女學校靑年會
金壹圓四拾五錢　ミセス、メーヤー
金九圓四拾五錢（四、五月分並四部一ケ年）橫濱共立女學校靑年會
金八拾四錢　海老原すて
金七圓（自大正三年二月至同四年一月）大阪プール女學校
金七圓七拾錢（自大正二年十月至同三年九月）同

日本基督教女子青年會

目的

日本全國の諸學校及び市邑に於ける青年女子の間に基督教女子青年會を設立し其一致聯合を圖り以て萬國基督教女子青年會と連絡する事

左の事項を奬勵す

青年女子の間に基督教的智識を普及し之を導き基督耶蘇を救主として信奉せしむる事

青年女子の靈的生命を涵養し獻身的行爲を勵し其智識社交身體の發達を圖る事

青年女子をして萬國に基督の王國を擴張せしむる事

會友

基督教女子青年會未設の地或は學校に於て本會の主旨を贊助し事業を奬勵せんと欲する者を以て本會の會友とす

會友の種類及會費は左の如し

通常　年　金壹圓　維持　年　金貳圓以上

會友には本會機關雜誌「女子青年界」を送附す

會友たらんと欲する者は本會本部に申出べし

事業一斑

巡廻訪問　本會幹事を派遣して支部を奬勵し或は地方の巡廻視察をなさしめ本會の發展を圖る

出張講演　廣く一般女子の需に應じて講師を派遣す

機關雜誌　月刊「女子青年界」を發行し靈性智識の資に供す

紹介部　一般女子のため諸般の紹介をなす

寄宿舍　東京市内に青年女子の爲監督寄宿舍の設備有り將來他の都市にも設立せん事を期す

宿泊所　外國婦人の要求に應じ併て日本の眞相を紹介す

夏季修養會　毎年夏季山水明媚の勝地に開會し專ら女子の修養を圖る

旅行者の友　地方より上京する婦女子の保護を要する者の救濟保護に任ず

社會部　所屬幼稚園有り主として下級社會の幼兒を收容し且其家庭の傳道啓導につとむ

中央委員

委員長　井深花子

副委員長　岡見惠子

記錄書記　三谷民子

會計　井上友子

萬國基督教女子青年會同盟委員　河井道子

委員

津田梅子（東京）

エ、ビ、ウエスト（東京）

鈴木歌子（東京）

小此木松子（東京）

長谷川喜多子（東京）

サラ、エリス（東京）

イ、クレメント（東京）

山田千代子（横濱）

廣岡淺子（大阪）

ケー、トリストラム（京都）

エム、エフ、デントン（京都）

佐伯小糸（京都）

松田道子（京都）

エス、ソール（神戸）

上代淑子（岡山）

幹事

總幹事（本部）　河井道子

同（同）　エ、シー、マグドナルド

書記（同）　アール、レーガン

總幹事（東京）　エム、エル、マシウ

幹事（同）　シー、アール、ワトネ

特志幹事（同）　エム、ペーヂ

幹事（横濱）　久野ひさ子

事務員（本部）　河口正子

事務員（東京）　大呑久子

旅行者の友係　林ふさ　松崎滿喜

幼稚園主任保姆　大槻愛子

幼稚園取締　菅野田鶴

寄宿舍監（第一）　門倉ぶじ

寄宿舍監（第二）　大西絹子

宿泊所取締　ミス、ダルトン

東京市牛込區田町三丁目十二番地

日本基督教女子青年會本部

支部及寄宿舍其他位置

東京基督教女子青年會	東京市麹町區三番町四一
廣島女學校青年會	廣島市上流川町
同志社女學校青年會	京都市上京區今出川通
プール女學校青年會	大阪市西區川口町一二
ウキルミナ女學校青年會	大阪市東區玉造
札幌女子青年會	札幌區北四條北星女學校內
宮城女學校青年會	仙臺市東三番町
クリスチアン女學校青年會	宇都宮市二條町七二
フェリス女學校青年會	横濱市山手町一七八
共立女學校青年會	横濱市山手町二一二
女子英學塾青年會	東京市麹町區五番町一六
女子學院青年會	東京市麹町區上二番町三三
青山女學院青年會	東京市青山南町七ノ一
青山女子手藝學校青年會	東京市青山南町七ノ一
女子傳道學校青年會	東京市小石川區指ケ谷町八四
神戸女學院青年會	神戸市山本通四丁目
金城女學校青年會	名古屋市東區白壁町四丁目
盛岡女子青年會	盛岡市內丸タピング方
徳島女子青年會	徳島市富田浦仲町ミスリッソン方
横濱女子青年會	横濱市本町五一
第一寄宿舍	東京市牛込區納戸町四五
第二寄宿舍	東京市小石川區水道町（安藤坂）
外國婦人宿泊所	東京市赤坂區檜町（乃木坂）
幼稚園	東京市小石川區金富町五二
旅行者の友事務所	東京市本郷湯島

National Committee

Headquarters. 12Tamachi Sanchome, Ushigome,Tokyo

Mrs. Hana Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss Tami Mitani, Secretary
Dr. Tomo Inouye, Treasure
Miss Michi Kawai,
Active Member World's Committee

Resident Members	Non-Resident Members
Miss Ume Tsuda	Madame Asa Hirooka, Osaka
Miss A. B. West	Mrs. Koito Saiki, Kyoto
Miss Uta Suzuki	Miss M. F. Denton, Kyoto
Miss Kita Hasegawa	Miss Michi Matsuda, Kyoto
Miss Sarah Ellis	Miss Yoshi Kajiro, Okayama
Miss Chiyo Yamada	Miss K. Tristram, Osaka
Mrs. E. W. Clement	Miss Susan Searle, Kobe

Secretaries

Miss Michi Kawai, National
Miss A. C. Macdonald, National,
Miss Ruth Ragan, National Office
Miss Margaret Matthew, on Furlough
Miss G. R. Watney, Acting General, Tokyo
Miss Mary Page, Acting Associate, Tokyo
Miss Hisa Kuno, General, Yokohama

本誌定價	
一部（郵共） 金七錢	一ケ年分 金七拾錢
海外 金拾壹錢	金壹圓廿四錢

廣告料	
一頁 金六圓	半頁 金三圓五十錢
四分ノ一 金貳圓	一行 金貳拾錢

大正三年五月廿八日印刷納本
大正三年六月一日發行

發行所 東京市牛込區田町三丁目十二番地 日本基督教女子青年會
編輯兼發行人 東京市牛込區田町三丁目十二番地 河井道子
印刷人 東京市芝區櫻田和泉町七番地 鈴木吉次郎
印刷所 東京市芝區櫻田和泉町七番地 三成舍

女子青年界第拾壹巻第六號

大正三年五月廿八日印刷納本大正三年六月一日發行　明治卅七年五月七日第三種郵便物認可